

大谷大学広報

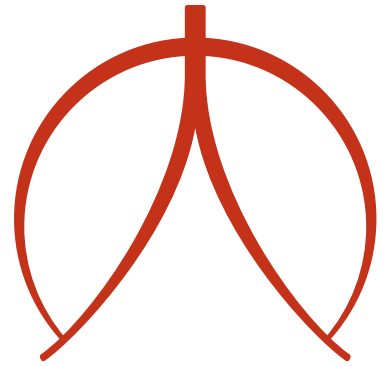
編集 大谷大学広報編集委員会

No.170

2007年1月11日

冬

2006



ペットとの暮らし

～君は家族の一員～

2006年度課外活動 秋季大会結果

学問のしおり

なぜオウム事件は起きたのか
寺林 脩

谷大エリア散策

アトリエ櫛舎

写真でふりかえる大谷大学今昔 旧二号館の建物

SQUARE

儒教文化圏における国交を考える
若槻 俊秀

冬扇

那揭羅曷(なげらはる)という国があった。アフガニスタンのジャラーラーバードあたりになる。7世紀の中頃、この地を玄奘三蔵が訪れている。釈迦菩薩が仏陀になるまでに三無数劫もの生涯を経ている。その第二無数劫の時ここで燃燈仏にお会いしたという本生譚が生まれた土地である。塔が建てられていた。玄奘は質問した。宇宙世界は生滅を繰り返している。すでに第二無数劫から第三無数劫

にいたるまでにいくたびも生起し消滅したはずである。宇宙世界が壊滅するときは須弥山さえ灰燼となるのに、いまなおこの地だけが変わらずにあるというのはどうしてか、と。土地の老僧が答えた。そうだ何もかも壊れるのだ。そして宇宙世界が生成するときはもとにあったところにまた現われる。須弥山さえもまたもとのところに現われるというのに、どうして聖跡のみがそうならないであろうか。較べてみれば何の疑いもなか

ろう、と。亦た名答となす、と玄奘は記す。

いまは、塔のあったところは地雷が埋設され、土地から物語は消え、風景は一変しているにちがいない。それでもいつかきっと物語とともに訪れたい土地である。

(宮下 晴輝)

私はあなたを介護すべきか、犬を介護すべきか。もしあなたが介護されることを望むのであれば、犬はあきらめるべきである」家内との間でそのようなやり取りがあった、私は他家の犬と歩いているのである。私はいま信頼と尊敬をよ

せてくれている龍に私のつまらぬ人生の問題を語りかけるべきかどうかを決めかねている。

(おだに のぶちよ)
教授 仏教学



私がペットに教えられたこと

北村 亜耶

私は生まれてから今まで、たくさんさんのペットたちを飼ってきた。思えばペットがいない生活は経験したことがないし、ペットがいない生活を想像することもできない。

今回は今まで飼ったペットたちの中でも1番強く印象に残っている猫の話をしたい。

猫の愛子は、私が生まれる少し前に私の祖父母が知り合いから譲り受けたメスのペルシャ猫だった。愛子の毛の色は、日の光を浴びるとまるで金色であるかのように輝く美しい茶色だった。愛子は私が生まれる前までは、祖父母にとっても可愛がられていたのだが、私が生まれると引っこ抜いてはいけなからとゲージの中に入れられるようになった。私が子どもの頃には、愛子に触ろうとするとよく体中の毛を逆立て、威嚇し、引っこ抜かれてしまうこともあった。

そんな愛子が妊娠したのは、私が小学校5年生くらいの頃だった。愛子は生まれてからすでに13年ほど経っていたため、病院の診断の結果は、愛子の腹部が膨らんでいるのは妊娠ではなく、腹部に大量の膿が溜まっており、一刻も早く手術をしなければいけないというものだった。しかし、その診

断は間違っていた。愛子は妊娠していたのだ。一晩苦しんだ末、愛子のお腹から出てきたのはなんと1匹の子猫だった。しかし生まれてきた子猫はすでに息絶えていたのだ。愛子はそのことに気づかずに、なんとか子猫を生き返らそうと必死に子猫の体を舐めていた。その場面は今でも忘れられず、思い出すと涙を流してしまいそうになる。

死産を経験した愛子は私が中学生の頃に乳がんを患った。しかし高齢だったため、手術をするにも体力が持たないと言われ、少しでもガンの進行を遅らせることができるように、毎日水に溶かした薬をスポイトで飲ませた。年をとっていたせいか、ガンの進行は遅く、



愛子といっしょに

CONTENTS

- p. 2…ペットとの暮らし
～君は家族の一員～
- p. 8…CAMPUS☆TOPICS
- p. 19…学問のしおり
- p. 20…紫明祭を終えて
「お祭りバカ」
- p. 22…2006年度 秋季大会結果
- p. 24…Keiji☆Ban
- p. 31…2007年度学費について
- p. 32…谷大エリア散策
- p. 33…写真でふりかえる大谷大学今昔
- p. 34…学生相談室から
- p. 35…出版物紹介
- p. 36…研究室だより
- p. 37…学会だより
- p. 38…入試結果
- p. 40…大谷中学校・高等学校
九州大谷短期大学からの
お知らせ
- p. 41…TANIDAI FRONT
- p. 43…2007年度学年暦
- p. 44…SQUARE

表紙のことば

今日はフェスティバル
みんなきつねやいのししに大変身
ここにいるみんなを笑顔にした
「ほら! あっち!」
次はあそこに行こう
夢を叶える為に

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたつたぬことの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2007年1月11日発行
発行 大谷大学企画室
編集 大谷大学広報編集委員会
〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学企画室内
電話 (075) 411-8115
FAX (075) 411-8149

それから何年も生き延びることができた。しかし、その間にもガンは愛子の体を蝕んでいき、皮膚の上にも腫瘍ができるようになった。それでも愛子は死ぬまで自分で歩いて自分のトイレで排泄をしていたのを覚えている。

愛子が死んだのは私が高校1年生のときだった。祖母が買い物から帰ると仏壇の前に敷いてあった座布団の上で冷たくなっていたようだ。私が愛子の顔を見たときはまるで眠っているかのように安らかな顔だった。後から考えると愛子が亡くなったその日はちょう

ど、祖父の命日だった。祖母は「おじいちゃんがとても可愛がっていた猫だったから、命日に迎えに来たのかもしれない」と言っていた。私は、愛子が寂しくないように祖父が迎えに来たのかもしれないと今でも信じている。

私は愛子から、小さな命の大切さやはかなさ、大事なものを失う悲しみを学んだ。私にとって愛子は、私のことをなんでも知っているお姉さんのような存在だった。

現在も犬を1匹飼っている。その犬も今では16歳となり、すっかり年老いてしまい、別れの日がい

つ来てもおかしくない。しかし愛子と同様に、永遠に私たち家族の一員である。

(きたむら あや)
幼児教育科 第2学年



ブラックバスを飼う理由・・・

曲渕 訓和

今回、ペットについて書くことの依頼を受け、ほとんど困ることとなった。それはこれまでに愛玩動物としてのペットを飼ったことがなかったからである。

我が家(私と息子)では一時期確かにブラックバスを飼っていたが、それをペットと認識していたかどうかは怪しいものである。どちらかといえば実験用動物を飼っていたというつもりだったと思う。

ブラックバスという名前は、今では知らない人はいないほど全国的に有名になっている。しかし、それは一部のアングラ(釣り人：ここではルアーフィッシングをする人)には歓迎されるものの、大半の地域においては招かれざる客となっている。特に滋賀県などではモロコなどの固有の魚を食い荒らす外来魚ということで、悪の代名詞みたいに言われておりリリース禁止の条例まで施行されたほ

どである。そのようなブラックバスなので、フィッシングの対象になっても、飼った経験のある方はそういないだろうと思う。

では、なぜ我が家でブラックバスを飼うようになったかという、数年前、息子が中学に入学してまもなくの頃、初めて琵琶湖にルアーフィッシングに行き、ビギナーズブラックではあるが、30センチオーバーの大物(当時はそう思っていた)を釣り上げた。あまりの感動に、息子が「持って帰って飼おう」といい、その熱意に押され、妻の呆れ顔(生物の実験だと苦しい言い訳をしたため)を尻目に、知人から特大の水槽を貰い、飼い始めることとなった。

生物の実験といった手前、それなりにブラックバスの生態についても雑誌やインターネットで調べた。

ブラックバスは、アメリカ大陸の五大湖周辺が原産で、我が国に



息子が釣り上げたブラックバス

入ってきたのは1925年、赤星鉄馬という実業家が食用にするために箱根の芦ノ湖に放流したことによるといわれている。彼らは動くもの(=生きたエサ)しか食べない。この動くものしか食べないという

彼らの習性を利用してバスフィッシングは行われている。ハードルアー（プラグ類）であろうとソフトルアー（ワーム類）であろうと、生きた魚やミミズのように動かすルアーアクションが大切なのである。

我が家では、私が専らエサの調達を行い、息子は水槽の掃除をしたり観察などを行っていた。暖かい季節はまだエサの調達は楽で、近くの神社の堀を網でさらえ、小さいザリガニを捕ってきてブラッ

クバスに与えていた。捕ってきたザリガニ（20～30匹）をブラックバス水槽に入れると最初のうちはザリガニがブラックバスの目の前を悠然と歩いているが、暫くするとブラックバスは口が閉まらなくなる程ザリガニを食べており、その大食ぶりには呆れるばかり。一方冬場はエサの確保に大変困り、わざわざペットショップに金魚を買いに行きブラックバスに与えていた。これもひとえに息子の勉強のためとおこなってきたこと

である。

その甲斐あってか、ブラックバスの様々な生態を観察していた息子は、今では父親をライバルではなく、運転手としてしか見なさないほどに腕を上げ、休みのたびに琵琶湖へと繰り出すことになっている（生物の成績は・・・）。

皆さん、ブラックバスは釣ってもリリースしないようにしましょう。

（まがりふち くにかず）
総務課 職員



金魚と過ごした思い出

上林 俊介

毎年5月になると井波町（富山県）ではお祭りがあり、多くの屋台が並んでいた。屋台には輪投げやダーツおでん（ダーツであたった数貰える）といったゲームがあり、もちろん定番の金魚すくいもあった。私が飼っていた金魚はその金魚すくいに入れてきたものだ。金魚といっても、丸く太っていて、ひらひらが付いているようなかわいらしい姿ではなく、小さいフナをオレンジ色に塗ったようなもので、飼い始めた理由も、かわいいからでなく、ゲームで獲得した商品を持ち帰っただけという程度の意識であった。

金魚を飼い始めたときは、漫画にでてくるような小さな金魚鉢で飼っていたが、すぐに大きな水槽が必要となった。はじめはおもしろがって餌を与えていたが、いつからか、毎朝餌を与えることは父親の日課になってしまっていた。

金魚には、餌を朝に1回与えるだけだったので、砂利やトンネルの模型等についた藻を1日中貪り

食っていた。たまにメダカのような小魚やタニシ、カナダ藻をとってきて入れておくとたちまち食い尽くしてしまう。我が家の水槽の生態系では、その頂点は金魚の他にその存在をゆるさないといった感じだ。

丁寧に世話をしていたので、金魚たちのほとんどは10年以上生きていた。飼い始めた当初は数センチの小さな体が、5センチ、10センチと大きくなるにつれて、鮮やかなオレンジ色がだんだんと薄れていき白（白というより透明に近い）へと変化していった。色が抜けていくので体内の血管などがうっすら見えてくる。

水槽の中に4匹の金魚を飼っていたときは、一番大きい金魚が13センチ（約15年）くらいで透明色、次に大きい金魚が2匹いて、10センチ（約8年）くらいで薄オレンジ、一番小さい金魚が7センチ（約15年、おそらく雌）くらいの透明色であった。どうやら金魚たちの中にも力関係があるよう

だ。小さい金魚はよく大きい金魚にいじめられているようで、目玉が右、左となくなっていた。その目玉はというと大きな金魚の胃袋の中に納まっていったのである。餌のとりあいでも大きい金魚は、ドラえもんで例えるならジャイアンのような理不尽さを発揮し、小さい金魚はまるで眼鏡を失ったのび太くんのように見えた。なんて嫌なヤツなんだと、自分はこのジャイアンを悪者扱いし、ルアーで釣ってやろうとした。が、水槽の外では、そこにいつも弟をいじめている兄貴がいることに気付いて、〈何だかなあ〉と思い、ただ



金魚の世界を見つめるだけであった。

私は3年前に大学へ入学し、郷里を離れて生活するようになった。あるとき帰省してみると家の中に漂う雰囲気少し変わっているように感じた。なにげなく部屋を見渡すと水槽が無くなっている

ことに気づいた。金魚はいつも餌を与えていた父親の手で貯水池に捨てられていた。特に可愛がり、面倒をみていたといえるわけではないが、これまであって当然と思うものがなくなっていることに対して一種の喪失感を感じ、物寂しいものである。

今でも帰省したときは、無意識のうちに水槽のあった場所を見てしまう。

(かみばやし しゅんすけ)
真宗学科 第3学年



ナマズを飼う

泉 恵機

ナマズを飼っている。私は、ナマズに対しては“魚”とは呼びがたいような、むしろ“友だち”とか“ツレアイ”という言葉がピッタリするような愛着をさえて持っている。犬や猫だけでなく鳥やいわゆるケモノまで、とにかく好きでいろいろと飼ったことがあるが、イキモノの中でいちばん好きなのがナマズではないかと思う。

何より身近に感じるのは、あの、ふてぶてしさとともに、どこか間の抜けた感じのする相貌である。その上、あのヒゲがたまらない。ことに酷暑の昼下がりに、池の中の生き物たちを睥睨するかのよう、ヒゲをなめらかに水になびかせながら悠々と、首を振るようにして泳ぐ様を見ると、「オーイ、今日も暑さに負けずに頑張ってるな、オヤジ!」と声をかけたらしってしまう。それが危険を感知



するや、目にもとまらぬ敏捷さで穴に姿を消す。その機敏さが私の心をかき立ててくれる。いわば、危機感に緊張する心を微塵もみせず、悠々と動じない風貌に魅せられているとも言おうか。

最近では、ナマズを入手しようとしてもなかなか手に入らなくなったが、私の幼年期には掃いて捨てるほどいた。梅雨明けの頃に、川とさえ言えぬような水路を、琵琶湖から遡上してきて田んぼで卵を産む。それが孵化して泳ぎ出すところに、その“孫”と呼ばれたりするオタマジャクシと一緒に泳ぎ回っていた。タモで掬って、手足の出てるのは蛙の子、無いのはナマズ、と分けて遊んだりもした。その頃からすでに、カワムツやボテジャコとは数段上にランキングして何倍も身近なヤツだと、私には感じられたものだった。

とにかくかなり沢山いた。それがこのところ激減している感じだ。その一つの原因は、ナマズが田んぼに上れないようなコンクリートの水路を作ったことにあるだろう。田んぼに上らなくても水路や川で産卵してもいいわけだが、それを許さぬ環境も私たちは作ってしまった。第一にエサとなる小魚や水生昆虫や小動物がいな



ビワコオオナマズの住む池

くなった。護岸工事と農薬によるところが大きい。その上、フィッシュ・イーターの外来魚たちの跋扈。

今は、水槽には普通のナマズが、池には二代目のビワコオオナマズがいる。初代は、数年前に本学の哲学科を卒業した無類の釣り好きが、夜にやってきてこっそり池に放流したらしい。彼、黙って入れるものだから、「エーッ? あんなに大きなヤツはビワコオオナマズに違いないけど、どこから入ってきたんだろう? それとも、たくさん網で掬ってきて池に入れた小魚のなかにヤツも混じっていて大きくなったのかなー?」と楽しい想像を、来る人に片っ端から話していたところへ、「先生、ナマズは元気?」と電話があって知った。初代は80センチを超える大物になったので琵琶湖に放した。今は二代目。これは近くの川で捕ったの

が大きくなった。

水槽には、いわゆるナマズ。水槽のヤツは、隠れ小屋にと放り込んである土管から出てくるのは稀である。したがってその勇姿を見ることがあまり無い。それもさみしいので、時折水槽の掃除にかこつけて外に出し、ヌルヌルするの

をタオルで巻いて、抱きあげて軽くキスをしてやる。するとジッとされてくれるがまあだ。やっぱりこちらの愛情がわかるのだ、などと人に話したりして、呆れられてもいる。

こんな具合で、私とナマズたちの蜜月は当分続きそうである。

かつて食べたナマズ料理のうまさ
が脳裏をかすめるが、それを打ち消しながら、“やっぱりナマズに勝つヤツはいないな”と呟いたりしている。

(いずみ しげき)
(教授 人権論・同和教育)



ムクへの初めての手紙

武田 多聞

記憶が正しければ、僕が小学校4年生のときに兄が友人から犬の子どもがたくさん産まれたのでオスの子犬を1匹譲ってもらってきた。それが君、ムクだ。君が家に来るまで僕は本当に待ち遠しかった。犬の飼い方や躰の仕方といった本を読んだり、犬を飼っている友人から話を聞いたりして君が来ることを想像して毎日そわそわしていた。

初めて家にやって来たときの君はとても小さかった。でも、あっという間に月日が経ち立派な中型犬になった。7、8年という短い間でも君とはとてもたくさんの思い出がある。いつも散歩のときに僕より早く歩いて、どっちがご主人様か分からなかったり、時には一緒にマーキングした恥ずかしいことも覚えている。僕が学校から帰ってくるのを察知すると、遠くからでもちぎれんばかりに尻尾を振り迎えてくれた。また、いつも「ハアハア」としか言わず、何もできない犬だと思っていたけど、「お手」「おかわり」「お座り」「伏せ」ができるようになったときは君のことを誇らしくも思った。

君には学校も部活も早起きもテストもないことが僕には羨ましく

感じるがあった。でも風邪をひいて学校を休んだある日、1日中家で安静にして外に出られないつらさに気付いた。君はいつも首輪を付けられ、鎖で繋がれ、じっと1日を過ごしていた。それなのに君は目が合うと尻尾を振って、「早く元気になれ」と励ましてくれた。まるで人の心が分かるかのように。君の無垢な笑顔がいつも僕に元気を与えてくれたように思う。

しかし、そんな君に対して時には冷たく接したり、気分が悪い時には鎖を強く引っ張ったりして自分勝手に八つ当たりすることもあった。それでも君は人なつっこく僕に近寄ってきてくれた。また、君は人間の何倍もの嗅覚があるのに僕は香水を付けて近寄ったりしていて、今思うと本当に申し訳なかった。

君が亡くなったのは朝方だった。そのとき僕は起きていた。最後の力を振り絞るかのような声で鳴いてから君は逝ってしまった。あの最後の鳴き声は僕たちへのエールだったのか、それとももっと生きて一緒に暮らしたいという悲しみだったのか、僕には分からない。でも、1枚の写真を見ている

と君がまだ生きているような気がしてならない。家に帰るとまた尻尾を振って迎えてくれそうな気がする。だが、君はもういない。

これからまたペットを飼うかどうかはまだ分からない。君がいなくなったような悲しみをもう一度味わうのは嫌だからだ。しかし、そのつらさ以上に素敵な体験ができたことは本当に嬉しい。君からもらった温かいぬくもりを糧に僕はこれからも生きていく。ありがとう。



ムクと弟

(たけだ たもん)
(真宗学科 第4学年)

2006年度 大谷大学教育後援会文芸奨励賞 「いま伝えたいこと」50字表現 入賞作品発表

今年度より、大谷大学教育後援会文芸奨励賞が創設されました。この賞は、在学生を対象に文芸作品を募集し、言葉による表現意欲を奨励することを目的にしています。

今年度は「いま伝えたいこと」をテーマに50字表現を募集し、143名の方から作品が寄せられました。選考の結果、次の方々が入賞され、去る11月12日(日)学園祭後夜祭において表彰式が行われました。

最優秀賞	眞壁孝治 (哲学科 第2学年)		
優秀賞	田島 遼 (哲学科 第4学年)		
佳作	大塚太一 (史学科 第1学年)	太古数馬 (国際文化学科 第1学年)	
	堀内沙和佳 (哲学科 第3学年)	堀口雅幸 (哲学科 第3学年)	
	山本千恵子 (文化学科 第1学年)	柚山彰子 (哲学科 第4学年)	
	吉川和花 (幼児教育保育科 第1学年)		

〔最優秀賞〕

眞壁孝治

(文2・哲)

もう会えなくなる「ひと」がいる。その背中にまだ手が届く「いま」話したい。この大切な「きもち」。

〔優秀賞〕

田島 遼

(文4・哲)

こんなにしんどいのに生きるぜこのやろう！

〔佳作〕

大塚太一

(文1・史)

当たり前
食事は当たり前
携帯電話は当たり前
遊ぶことは当たり前
生きることは当たり前
当たり前って何んですか。

〔佳作〕

太古数馬

(文1・国際)

今の自分は昔よりも知識は豊富になった。

しかし、それ以上の何かを忘れてしまっている気がする。

〔佳作〕

堀内沙和佳

(文3・哲)

惰性で生きるのは嫌だから今はつらくても前に進む
いつか分かる
この道を選んだんだ
懸命に生きてやる

〔佳作〕

堀口雅幸

(文3・哲)

ことばの向こう側に
誰かがいること
ことばの真中に
心があることを
向こう側の誰かが
知っていてくれますように

〔佳 作〕

山 本 千 恵 子

(短1・文化)

前向きな言葉は皆喜びます。
なので私も沢山書きました。
では、後ろ向いた思いは何処
で綴ればよいのですか？

〔佳 作〕

柚 山 彰 子

(文4・哲)

いつかは死ぬとわかっ
ていながら、この今、死なずに
生きている。なぜ？死を問
いながら、生き続ける私。

〔佳 作〕

吉 川 和 花

(短1・幼保)

今はいつか過去になるから
会えなくなる時はきっとくる
私が今、あなたの隣にいるこ
とだけは忘れないでね

大谷大学教育後援会文芸奨励賞選考にあたって

今年度より大谷大学教育後援会では、学生支援事業の一環として文芸奨励賞を設けました。従来の学生の経済的支援である、特別貸与奨学金・家計急変奨学金・勤労学生表彰奨学金の奨学事業に加えて、学生の勉強意欲を高揚する一つの褒賞としての文芸奨励賞は文

科の大学として大きな意義をもつものであります。

今回『いま伝えたいこと』をテーマに50字以内で募集いたしました。応募いただいた143点の作品は、学生の生の声がひしひしと伝わってくるものばかりでした。学生という立脚地より、自分の信念、

大谷大学教育後援会会長 頼尊 聖

取りまく環境、両親のこと、友情のこと、将来のこと、殊に人間として生きることをテーマに、切実に伝えたいことを表現しておられました。ここに優秀な作品を発表し表彰いたします。

「いま伝えたいこと」講評

今回の応募作品は、全部で143編。表現形式は問わなかったのに、短歌から散文まで、いろんな作品がそろいました。

選考にあたって教育後援会会長と学内から3名の先生方に選考委員をお願いし、選考会を開きました。選考の際にまず留意したのは、「伝えたい」という熱い思いとその内容です。言葉にすることによって内にある思いがどのように外に現れているかを見ました。テーマには「誰に対して」ということは掲げていないので、自分自身に向かって伝えたい言葉でも良いのですが、単に独白やつぶやきと感ぜられるものは選外としました。

いま一つは、50字という限られた字数の中で、どれだけ端的に表現できているかにも留意しまし

た。単調では物足りません。かと言って、言い過ぎてくどくなったり、工夫しすぎたために分かりにくくては逆効果です。このような視点に立って、結果としては最優秀賞1名、優秀賞1名、佳作7名を選びました。

最優秀賞に選ばれた眞壁さんの作品には、さまざまな読み方を許す奥行きがあります。“もう会えなくなる「ひと」とは、恋人かもしれません。あるいは死をもって別れなければならない人かもしれません。いずれにしても大事な人であることが伝わってきます。また、その人と今なら話することができるという「いま」の大事さも伝わってきます。そして伝えたい「きもち」の大切さも伝わってきます。「きもち」の中身が示され

学生部長 一楽 真

ていないことが、かえって読む者の想像を掻き立ててくれます。

優秀賞の田島さんの作品は、短い中にも勢いが感じられます。「このやろう！」というのは荒っぽい表現ですが、そこにかえって生きることに向き合おうとする熱意が表れています。佳作の7作品について今一々のコメントは割愛しますが、生きること、死ぬことを見つめながら、読む者に問いかけてくる言葉となっています。

今回惜しくも選にもれた人も、また今回応募しなかった人も、来年以降も文芸奨励賞の募集はあります。より多くの方に応募をいただいで、皆さんの言葉による表現がますます盛んになることを心より期待します。

真宗学科第4学年後藤靖英さん、第22回暁烏敏賞第1部門に入選

本学文学部真宗学科第4学年後藤靖英さんが、石川県白山市が主催する第22回暁烏敏賞第1部門（哲学・思想に関する論文）に『更生の仏道』という論文で入選され、11月15日(水)、白山市民交流センターにおいて贈呈式が行われました。

暁烏敏は、古今東西の芸術、哲学に関する万巻の書に学び、20世紀上半期の精神文化界に大きな影響を与えました。本学の前身である真宗大学に学び、本学3代学長の佐々木月樵、多田鼎とともに『精神界』を発刊するなど、本学とも非常に関係の深い方です。

白山市では暁烏敏の優れた功績を讃え末永く顕彰するとともに、伝統文化の継承発展と21世紀を担う青少年の健全育成を図り、有為

な人材の輩出を願って「暁烏敏賞」を設け、今回が22回目となっています。

後藤さんの論文については、選考結果の選評において「親鸞の信仰的自覚と暁烏敏のそれが同質のものであるとの前提に立って、この論証は成り立つわけですが、発想・構算力および思想の理解とそれを平易に表現する力などにおいて高いレベルにあり、哲学を学ぶ人ばかりではなく、ぜひ、一般の方にも読んでもらいたい論文です」と評されています。

後藤さんは今回の入選について「私は、暁烏先生の著作によって、大谷大学に入ることを決心し、また、人生の意味を見出すことについての示唆を受けてきたと感じています。今回の受賞は、自分にと

って感銘深く、大変名誉なことだと思っています」と話してくれました。今後ますますのご活躍が期待されます。

なお、入選論文『更生の仏道』はインターネット上で公開されています。下記のURL、もしくは論題で検索をすればすぐに関覧できます。是非ご覧ください。

http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/kyouiku/bunka/akegarasu_sho/ronbun/21-30/H18-1honbun.jsp

(企画室)



後藤靖英さん

本学元教授が地域文化功労者として文部科学大臣表彰を受賞

11月13日(月)、本学卒業生で、短期大学部教授として教鞭を執っておられました高橋正隆さん(1953年学部卒)が、「平成18年度地域文化功労者文部科学大臣表彰」を受賞されました。地域文化功労者表彰は、多年にわたり文化財の保護に尽力する等地域文化の振興に功績のあった個人および団体に対して、その功績を称え文部科学大臣が表彰するものです。

和紙文化研究の第一人者である

高橋さんは、滋賀県下の古い経典をはじめとする文化財調査に主任調査員として携わるとともに、滋賀県文化財審議委員会委員を15年にわたり務められており、それらの功績が認められ今回の表彰となりました。

今回の表彰について高橋さんは「大谷大学の史学の教授陣には、橋川正、徳重浅吉、三品彰英、藤島達朗など、歴代のすばらしい先生がおられました。この先生方の

伝統や薫陶を受けて実践してきたことです」と述べられています。

なお、高橋さんは2005年11月に第30回滋賀県文化賞も受賞されています。

(企画室)



高橋正隆さん

黔靈山弘福寺晋山式に出席



北京版西蔵大蔵經の複製記念額を贈呈

9月25日(月)から29日(金)まで、中国仏教協会の招聘により黔靈山弘福寺(中国貴州省貴陽市黔靈山)の第16代方丈心照大和尚晋山式に、本学から大桑齊名誉教授、八木孝枝教育研究支援課長、本田求学生支援部学生課チームリーダーが出席しました。晋山式とは、寺

院に新たな住職が就任するための儀式ですが、2002年度に本学大学院修士課程仏教文化専攻を修了し、現在は中国仏教協会の日本との交流担当責任者として活躍されている李賀敏氏の招聘により参列したものです。

黔靈山弘福寺は、清代康熙11

(1672)年に赤松和尚によって開山された禅宗のお寺で貴陽市の西北部、黔霊山公園の中にあります。式典には、貴州省人民政府、貴陽市人民政府を始め、中国仏教協会、

中国道教協会の代表者など、中国各地から様々な宗派の僧侶が出席しました。また、日本、韓国、台湾、ネパール、チベット、インドネシア、マレーシア、シンガポ

ルなど海外からも多数の出席者があり、3,000名を超える盛大な式典となりました。

(教育研究支援課)

首都師範大学教員が本学博物館を訪問

10月21日(土)、学术交流協定校のひとつである中国・首都師範大学の趙宏助教授と北京市豊台区書道家協会の聶軍生副主席が本学博物館を見学されました。

当日は、首都師範大学からの交換留学生として本学で学んでおられるLI YING(李穎)さんの通訳のもと、博物館2006年度特別展「鈴木大拙没後四十年記念展 大拙その人と学問」を観覧され、その後、博物館所蔵の拓本や印譜をたいへん興味深くご覧になりました。趙宏助教授は書道・篆刻、聶

軍生副主席は楷書・隸書を専門としておられ、特に本学所蔵の印譜を熱心にご覧になり、研究の上でも参考となったようです。そして、今回の訪問のお礼として、自作の書や印、篆刻の教科書やDVDを寄贈してくださいました。

首都師範大学とは1997年の学术交流協定締結以来、数多くの学术交流を重ねております。現在は、本学李青助教授が首都師範大学で在外研究中であり、留学生の交流や本学短期中国語研修(国際交流科目)なども実施しております。

また、共同学位授与プログラム実施にむけての協議も進めており、今回のような教員の訪問を含め、今後もますます交流の機会が増えていくことが期待されます。

(教育研究支援課)



博物館所蔵資料見学の様子

留学説明会を開催

10月23日(月)、GLOBAL SQUAREにおいて留学説明会を開催しました。

説明会には35名の出席者があり、留学制度や単位履修における注意事項から奨学金の紹介、進路を考えるにあたっての留学の心構えまで、留学を考える時に必要な情報を幅広く網羅した内容の説明を行いました。また、説明会の最後には、2006年度国際交流科目「イギリス文化研究・実践英語短期語学研修」に参加し、キール大

学で英語を学んだ村田遼平さん(本学文学部第4学年)が経験談を、交換留学生のLEE JONGSU(李鍾寿/韓国・東國大)さん、LI YING(李穎/中国・首都師範大学)さん、WANG JIALU(王佳璐/中国・東北師範大学)さんの3名がそれぞれの母校の歴史や特徴を話してくれました。

GLOBAL SQUAREでは、このような留学説明会とあわせて、個別の留学相談も随時行っています。また、語学の勉強会や留学生

との交流イベントなども企画、実施していますので、興味のある方は気軽にGLOBAL SQUAREへ足を運んでください。

(GLOBAL SQUARE)



説明会の様子

「京都の大学『学び』フォーラム2006」を本学にて開催

10月28日(土)、財団法人大学コンソーシアム京都が主催する「京都の大学『学び』フォーラム2006」(以下「学び」フォーラム)が本学を会場に開催されました。

「学び」フォーラムは、主に進学を希望する高校生を対象に、高

校生活における「学習意欲の向上」や「大学への入学目的の明確化」の機会を創出し、高等学校と大学の「学び」をスムーズに接続することを目的として、今年度は東京、名古屋等の6会場において開催されました。

当日は好天に恵まれ、京都府、滋賀県下を中心に、延べ4,547名(主催者発表)もの高校生が来学し、模擬授業や個別相談等に熱心に参加していました。本学からは、Monica A. Bethe教授による模擬授業「アメリカ南西部物語」を開講



「博物館学芸員体験」の様子

し、また「何でも体験コーナー」では宮崎健司助教授、平野寿則講師による「博物館学芸員体験講座」が開講され、多くの高校生が受講しました。

また、休憩時にはサンクンガーデン特設ステージにおいて、本

学学園祭実行委員会による学園祭PR企画や、大学コンソーシアム京都の京都学生祭典実行委員会による「京炎 そでふれ！」が披露され、イベントを盛り上げました。

(入学センター)

「大津市仰木の里子育て支援講座」へ幼児教育保育科学生が参加

10月29日(日)、大津市仰木の里市民センターにて、「親子プレイステーション事業 子育て支援講座」が開催されました。このイベントは、講座を通して「子どもとともに」感動しながら子育てをする心のあり方や子どもとの関わり方を考えていくものです。

当日は、本学の豊住征子教授と山本真理実習助手のサポートのもと、幼児教育保育科有志50名によるオペレッタ「オズの魔法使い」、

「アラジンと魔法のランプ」が披露され、参加した約60名の子どもたちと保護者は、学生たちの熱のこもった演技に目を輝かせていました。またフィナーレのダンスでは、子どもたちも舞台上上がり、学生と一緒に踊るひとコマもありました。

今回の講座ではオペレッタ、うた、ダンスなどを通して、音楽が子育てに与える影響を感じていただけたのではないのでしょうか。

子どもたちは、最後に学生が用意したお土産をもらってうれしそうに帰路につきました。

(教育研究支援課)



オペレッタの様子

留学生文化交流会を開催

2006年度第2回留学生文化交流会が11月1日(水)に開催され、外国人留学生・日本人学生あわせて26名が参加しました。

今回は2部構成で、第1部は、マルチメディア演習室において外国人留学生4名・日本人学生1名が、出身国の食文化について発表し、続いてGLOBAL SQUAREの見学・紹介を行いました。発表内容の一部を紹介します。

- ・韓国：日本と違い、お茶碗を持ち上げて食べるのはマナー違反。
- ・イギリス：自国の料理の評判は良くない。しかし食べることはコミュニケーションの一つなので、その土地の文化に触れてほしい。
- ・中国：長白山(ちょうはくさん)

のきのこは10回以上洗わないといけなため、怠け者は食べられない。

・日本：節分の日に食べる「恵方巻」。これは1970年代より企業の販売促進キャンペーンとして広められ、習慣として定着したものである。

身近な食文化がテーマであり、参加者は興味深く耳を傾けていま



第1部 写真で母国の食文化を紹介

した。

第2部はビッグバレーカフェにおいて、手巻き寿司を作りました。日本人学生が外国人留学生に作り方を教えている姿も見られ、食文化を通して参加者同士の親睦を深めるものになりました。

(学生課)



第2部 手巻き寿司作りの様子

特別展 鈴木大拙没後四十年記念展「大拙 その人と学問」を開催

博物館では、10月10日(火)から11月28日(火)まで特別展 鈴木大拙没

後四十年記念展「大拙 その人と学問」を開催しました。この展覧

会は大拙に縁の深い鎌倉・金沢・京都で巡回展として開催され、本

学がその最終会場となりました。本学での開催は、1921年に大拙が教授として赴任されて以後40年間にわたって教鞭をとられたことに機縁しています。大拙が晩年に設立した鎌倉の松ヶ岡文庫に今も残される書齋を復元し、手紙や英訳『教行信証』の原稿などを通して、

大拙の人となりと学問を紹介しました。博物館入口では、昭和37年の本学における講演「親鸞の思想」を編集して放映し好評を博しました。本特別展には約3,700名の方にご来館いただきました。

(図書・博物館課)



観覧の様子

「鈴木大拙没後四十年記念講演」を開催

11月3日(祝)、響流館メディアホールにおいて「鈴木大拙没後四十年記念講演」として、Norman Waddell本学名誉教授による「菩薩の威儀(おこない)」、Michael Pye本学客員教授による「鈴木大拙の仏教観と東西思想の出遭い」



Michael Pye客員教授

を開催しました。当日は祝日の夕刻にも関わらず約250名の来場者が熱心に聴講されました。事前に新聞等で取り上げられたこともあり、当日メディアホールに入りきれなかった方々はマルチメディア演習室やギャラリーにて中継映像をご覧いただきました。

また当日は、博物館特別展・鈴木大拙没後四十年記念展「大拙その人と学問」も19時まで延長開館しており、各講演前には博物館展示や図書館エントランスの特別展示コーナーを多数の方にご観覧いただきました。

なお、当日の講演の様子は、10

月13日(金)開学記念式典における上田閑照京都大学名誉教授の特別講演「『間(あいだ)』の妙—鈴木大拙と曾我量深—」と同様、本学ホームページよりストーリーミングコンテンツ配信を行う予定です。

(図書・博物館課)



Norman Waddell名誉教授

博物館オリジナルグッズが完成



博物館オリジナルグッズが完成しました。第一弾は本学所蔵の「雲岡石窟」などの拓本をデザインしたTシャツです。色は黒・赤・紺・濃緑・深緑の5色です。このTシャツは限定バージョンですので、ぜひお買い求めください。

博物館では今後もオリジナルグッズを作成する予定です。「こんなグッズ」が欲しいというご要望がありましたら、図書館カウンターにてお声をかけてください。

(図書・博物館課)

中学生「生き方探求・チャレンジ体験」・高校生インターンシップの受け入れ

11月6日(月)~10日(金)、京都市立加茂川中学校の生徒2名が「生き方探求・チャレンジ体験」のため、本学を訪れました。この体験学習は、《広く社会に出て、さまざまな体験や多くの人とふれあうことにより、自分を見つめ直し、将来を切り拓く力や姿勢を育成するな

ど、多くの事柄を学ぶ機会》となることを願って実施されているものです。毎年、学校付近の多くの事業所が活動に協力しており、本学でも、2年生の笹崎洸介君と澤井宏一君の2名に大学事務を体験していただきました。体験期間中、図書館では、図書の整理や受付、

カウンター業務、教務部では、ノートテイクの体験や教材の準備、企画室では、郵便物の発送や行事の設営、広報誌掲載用の写真撮影などに熱心に取り組んでもらいました。

また、11月21日(火)~22日(水)、京都市立伏見工業高等学校の生徒2

名が、インターンシップのため本学を訪れました。この研修は、「生徒たちが、事業所において企業の活動を体験する制度で、実務体験と教育研究の融合により、就業意識を高め、学習意欲の喚起、柔軟性のある人材育成などを目的」として実施されているものです。今年度は、産業デザイン科2年生の大島悠さんと吉賀麻美さんの2



チャレンジ体験の様子(お互いに撮影)



チャレンジ体験の様子(お互いに撮影)

名を受け入れ、企画室において、「授業をよりよくするためのアンケート」の準備や近隣昔の写真展の準備などを体験していただきました。「写真展の準備では、写真の補正作業をしましたが、高校の授業と同じようにパソコンを使っての作業だったので、取り組みやすかったです。でも、アンケート

の準備では、アンケート用紙を封入する時に手を切ったり、数がとても多くて苦労しましたが、5,000枚を封入できた時は、達成感を味わうことができました。今回の体験を活かして、これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいです」と感想を語っていただきました。

(企画室)



インターンシップの様子

「北区こころのキャンパスネットワーク講演会」を本学にて開催

11月7日(火)、響流館メディアホールにおいて「北区こころのキャンパスネットワーク講演会」が開催されました。この講演会は京都市北保健所が主催したもので、すべての人がいきいきと安心して暮らしていける、こころのバリアフリーを目指すまちづくりの一環として行われているものです。今年度のテーマは「ストレスとうつ病」という現代人が抱えている最も身近な問題を取りあげ、160名を超える参加者がありました。

講演会では、京都市こころの健

康増進センターの波床将材先生から「うつ病についてー入門編ー」、本学の谷口奈青理助教授からは「ストレスとうまく付き合う生き方」というテーマでお話いただきました。

谷口助教授は、ストレスの原因について言及したうえで、ストレスを“なくす”のではなく“ある”ということを確認することでうまく付き合っていくことができる、という話をされ、参加者も熱心に耳を傾けていました。

当日は、講演会の合間にうつ病

経験者の体験報告や、ネットワークのテーマソングの披露、そして響流館ギャラリーでは、北区内にある社会復帰施設9団体による施設紹介とバザーなど多彩なイベントが行われました。

(教育研究支援課)







講演会の様子

第11回大谷大学同窓会ホームカミングデー開催

学園祭(紫明祭)期間中の11月11日(土)に同窓会主催、恒例の「ホームカミングデー」を開催しました。退職された先生や専任教員のご出席のもと、全国より約150名の同窓生やご家族などの参加がありました。

第I部「谷大へ行こう」では、あいにくの雨のため、昨年好評で

ありました屋上での記念撮影は中止となりましたが、メイン会場である第1会議室において、参加者は久しぶりに再会した恩師や旧友と和やかに懇談されました。また、スタンプラリー「谷大 温故知新」では、「北門石柱」「博物館」「尋源館」「2号館の翔」の4箇所を巡り、・・・のスタンプ

を集めました。母校のキャンパスを散策する際には、当日配布された「学園祭バザー利用券」を利用し、バザーに参加しながら在学生との交流も図られました。

第I部後半の「お楽しみ抽選会」では、11月11日開催「第11回ホームカミングデー」にちなみ、スタンプラリー完了者の中から抽選で

11名に豪華な味のお楽しみ袋が景品として贈られました。また、全員参加の「ひっばって大当たり」では、参加者の「ひっばって大当たり！」という掛け声のもと、色とりどりのテープを一斉にひっばり、みんなの歓声でいっぱいになりました。ひっばったテープにより、参加者に全国の同窓会各支部よりご提供いただいた特産品が贈

られました。さらに、バザーを利用した参加者の投票により、貫練学寮がバザー優秀団体として選ばれ、ホームカミングデーにおいて、また、翌日の後夜祭において同窓会より表彰されました。

その後、京都ロイヤルホテル&スパに会場を移し、第Ⅱ部「懇親会」が開催され、和やかな雰囲気の中、盛會裏に終了いたしました。

た。

(校友センター)



全国の同窓会各支部より特産品が！

第3回「全国高校生『人間が大好きです！』表現コンテスト」表彰式 開催

11月11日(土)に響流館メディアホールを会場に第3回「全国高校生『人間が大好きです！』表現コンテスト」表彰式が行われました。このコンテストは高校生の文化活動支援・情報発信力の醸成を目標に行われ、今回は北は群馬県、南は沖縄県に至るまで昨年を大きく上回る90作品が寄せられました。審査は本学の佐々木令信教授、福田洋一教授、共催のKBS京都から役員2名、そしてテレビドラマなどで活躍中の西村和彦さんを審査員に迎え厳正に行われました。その結果、映像作品部門は岡山県立岡山工業高等学校の安田彩香さん、ホームページ部門は沖縄県立

美来工科高等学校の比嘉あきのさんのグループがグランプリに選ばれました。今年の受賞作品のうち、特に、映像作品部門グランプリを受賞した安田さんの作品は、映像技術のプロであるKBS京都役員や西村和彦さんからも絶賛を受ける逸作でした。また、両部門とも「人間が大好きです！」というテ

ーマを高校生の皆さんが熟考し、テーマ性をより重視した作品が増えたことも今年の特徴といえます。上位受賞作品などは下記のホームページからご覧いただけます。

http://www.kbs-kyoto.co.jp/ningen_daisuki/

(企画室)



表彰式の様子



グランプリ作品についてのインタビュー

社会福祉援助技術演習 公開授業を開催

11月14日(火)、響流館メディアホールにおいて、インドで活動を展開しているNGO(民間の国際援助団体)ボーイズタウンの事務局長のラジャ博士をお迎えして公開授業が行われました。また、同時に同ホール前では活動を紹介する写真パネルも展示されました。「ボーイズタウン」は1965年にジョー・ホームマン氏が南インドのマドライではじめられた「子どもの福祉支援活動」です。ボーイズタウ

ンでは現在約1,000名の子どもたちが生活しています。日本ではこの活動を聖母学院中高が26年前から支援していますが、さらに支援活動を充実したものにとの願いから企画されラジャ博士の来日が実現しました。また、この来日を機に実現した本学における公開授業では、受講生から、福祉活動の原点ともいえるこのような活動をご紹介していただいたこと、また、新しい知見を教授していただいた

ことについての感想と感謝が述べられました。

(佐賀枝 夏文)



公開授業の様子

神戸親和女子大学との「小学校教諭一種免許状取得プログラム」協定締結について

11月20日(月)、本学は神戸親和女子大学(神戸市北区)と「小学校教諭一種免許状取得プログラム」協定を締結しました。

本学では、教職支援センターにおいて、小学校教諭を希望する学生からの相談が増えていること、また、教員を目指している学生が、卒業後、他大学の通信教育制度等を利用して小学校教諭免許を取得

するケースが増えてきていることなどから、在学中に小学校教諭一種免許状を取得できる提携プログラム導入の検討をおこない、今回の協定締結となりました。

本プログラムの履修許可者は、神戸親和女子大学通信教育部〈男女共学〉発達教育学部児童教育学科の科目等履修生として受講し、テキストによる通信教育およびス

クーリング(一部を本学において実施予定)によって免許取得に必要な59単位のうち45単位を取得していきます。(企画室)



調印を終え、握手する木村宣彰本学学長(右)と山根耕平神戸親和女子大学学長(左)

大学報恩講の厳修

11月27日(月)、宗祖親鸞聖人の絵像と歴代講師の肖像画が掲げられた講堂において、学内外から多数参集のもと、大学報恩講並びに歴



幡谷明名誉教授

代講師謝徳法要が挙行されました。

今年度は式典に先立ち、東本願寺より『教行信証(坂東本)』影印本の贈呈式が行われ、真宗大谷派の里雄康意参務より学長に影印本が贈呈されました。その後、里雄参務より、ご挨拶をいただき、影印本刊行の主旨をご紹介いただきました。

式典は、学長の調声により『正信偈』を全員で唱和して報恩講を厳修しました。引き続き歴代講師

謝徳法要に移り、『阿弥陀経』の読経のなか、来賓、教職員、学生がそれぞれ焼香を行いました。

法要終了後は、幡谷明名誉教授により「大悲心に生きる—無住処涅槃と還相回向—」の講題で記念講演が行われました。

その後、学内食堂に会場を移して小豆粥のお齋を全員でいただきました。(総務課)

真宗総合研究所開所25周年記念シンポジウムを開催

11月30日(木)・12月1日(金)、響流館メディアホールにおいて、大谷大学真宗総合研究所・国際仏教研究班(ヨーロッパ部門)とフランス国立高等研究院・宗教社会学部門との合同シンポジウムが、「宗教と近代合理的精神—日仏文化の比較をとおして」というタイトルのもとで開催されました。このシンポジウムは、真宗総合研究所の開所25周年を記念して開催されたものですが、「総合」の名にふさわしく、現代社会における宗教の諸問題が、さまざまな視点から

活発に議論される充実したシンポジウムとなりました。

開会式と基調報告のあと、「宗教と社会」「医療と宗教」「宗教と近代化」「死と宗教の現在」という4つのセッションが展開され、発表者はもとより、モデレーターそして会場の参加者のあいだでそれぞれの問題に関して、社会学的な立場、宗教的立場、フランスからの視点、日本からの視点など、さまざまな角度から問題が掘り下げられ、それぞれの立場だけでは見えてこなかった事柄が問題とな

るというきわめて意義深いシンポジウムとなりました。フランス国立高等研究院名誉院長ジャン・ボベロ博士を中心とするフランスからの参加者も、「次はパリで」という言葉を残して満足げに帰路につかれました。(門脇 健)



シンポジウムの様子

「大谷大学 近隣昔の写真展」を開催

12月5日(火)～23日(土)の期間、響流館ギャラリーにて「大谷大学 近隣昔の写真展」を開催しました。

この写真展は京都市、京都新聞社から後援をいただき、近隣地域への大学開放事業の一環として主催したものです。市民の皆様より



写真展の様子

ご提供いただいた昔の写真を中心に、「市電が走っていた街」や「学校のある街」など6ブロックから構成され、約150点の展示を行いました。会場では学生時代を懐かしむ卒業生や、近隣の方々が気さくに語り合い、交流を深めておられました。

また、写真展会期中の12月9日(土)には、響流館メディアホールを会場に、京都商工会議所北区地域経済懇話会が主催する第2回文化講演会が開催され、本学名誉教授の日下部有信先生が、写真展と関

連づけて「賀茂川と深泥池の自然」というテーマで講演されました。講演会にはあいにくの空模様にも関わらず70名の方が参加され、講演後の質疑応答では、時間が足りなくなるほど熱心な質問や意見が交わされました。(企画室)



日下部有信名誉教授

鈴木大拙没後四十年記念 仏教学会公開講演会「華嚴思想と現代」

12月5日(火)、鈴木大拙没後四十年を記念して仏教学会公開講演会が尋源講堂で行われました。講師には、国際仏教学大学院大学学長で日本印度学仏教学会の理事長でもおられる木村清孝先生をお迎えし、「華嚴思想と現代」と題してお話いただきました。

現代は、極めて一面的なものの見方しかできなくなったために、さまざまな問題が生じています。それに対して、複雑な成立過程を

経た『華嚴経』は極めて多様な世界を描き出しており、また、『華嚴経』が菩薩の歩みということを主要なテーマとしています。現代社会に生きるわれわれにも、たゆみない歩みが求められており、そのためには願いを持つことが重要であることなどを先生は力説されました。

学内外より約60名の方々にご来聴いただき、講演後には活発な質疑応答が交わされました。

なお、この講演の内容は、後日『佛教学セミナー』に掲載される予定です。(仏教学会)



講師の木村清孝先生

人権をめぐる2つの学習会を開催

教職員を対象とする人権問題学習会が、10月25日(水)、響流館メディアホールで開催されました。今年度は4つある「人権教育推進委員会」の中から、第3部会(障害者差別問題)と第4部会(性差別問題)の報告がありました。



第4部会の報告の様子

第3部会は「障害学生の大学生活における現状と課題」と題して、本学における障害学生の受け入れ実績、現状の障害学生への支援と将来的な課題について発表しました。具体的には、組織的な取り組み、施設・設備、授業支援などについて、資料及びアンケートを用いて調査を行い、今後の課題を指摘しました。

第4部会では「職業、家庭の役割、どのように差別が減るか、どのように差別が残るか。」と「女性が働きやすい環境を考える一家

庭での仕事、企業での仕事」の2つの発表を行いました。前者は、女性の社会的立場についてフランスを例にとり、法整備を含めて非常に分かりやすく報告しました。後者は、戦後の日本で、女性の働く環境がどのように変化したかとその有効性について、内閣府ホームページの図を参考にしながら検討しました。約60名の参加者からは、活発な質問が出されました。

また、2006年度第2回“人権問題を共に考えよう”全学学習会の講演会が、12月6日(水)、本学講堂

において開催されました。本年度は「今日の女性の雇用と就業をめぐって」というテーマで、きづがわ共同法律事務所弁護士の渡辺和恵さんに「働く女性の権利を確立するために」と題して講演していただきました。渡辺さんは、「働く女性の権利の確立」とは「働く者全員の権利を確立する」ことで

あるという信念で、裁判で闘ったご経験をもとに、差別の実態についてお話しいただきました。現場での実践に裏打ちされた内容で、参加者に力強いメッセージを投げかけられました。約80名の参加者からもさまざまな質問が出され、今後の更なる学習が必要なことを確認しました。(人権センター)



講師の渡辺和恵さん

就職活動報告会を開催

12月6日(水)、博綜館5階の第1会議室において「就職活動報告会」を開催しました。この報告会は、



就職活動報告会の様子

就職を希望している文学部第3学年と短期大学部第1学年の学生が、内定を得た先輩の体験談やアドバイスを聞き、これからの就職活動に役立ててもらうことを目的に毎年開催しています。

今回は、企画運営に携わった学生が提案した「就職活動プロセスコーナー」や「なんでも相談コーナー」、「就職活動グッズコーナー」を設置し、44名の就職内定者に協

力をいただきました。熱気につつまれた会場内では、約250名の就職希望学生が、先輩の熱心なアドバイスに耳を傾け質問をしていました。寄せられたアンケートには、身近な先輩のアドバイスに勇気づけられ、今後の就職活動に前向きに取り組みたいという内容が多くありました。

(進路就職センター)

中国文学会学術公開講演会を開催

中国文学会では毎年12月に講演会を開催し、学生および一般の方々に公開しています。今年度は12月12日(火)、尋源講堂において開催し、講師に池田秀三先生(京都大学教授)をお招きして、「礼と礼学」と題したご講演をいただきました。

池田先生には、中国伝統文化、

とくに儒教の中核である「礼」の定義とその多様性についてご説明いただきました。また『論語』などの文献からの引用を交えながら、礼の起



講師の池田秀三先生

源と、その性格が理論的に体系づけられていく様子を、時代を追って具体的にお話しいただきました。

当日は小雨のなか多数の方々にご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。

(中国文学会)

幼教フェスティバルが開催

幼児教育保育科のフェスティバルを、12月17日(日)、講堂において開催しました。今年度は「万華鏡～187色の輝き～」というテーマのもとに、各ゼミ(仏教保育演習1～9)ごとの発表を中心におこないました。午前の部(11時～12時30分)は、大谷幼稚園をはじめ、子どもたちを対象にした「かいけつゾロリ なぞなぞアドベンチャー」、

「ブレーメンの音楽隊」など、ゆかいな内容で楽しんでもらいました。午後の部(13時30分～17時)は、楽器演奏と手話歌で始まり、劇やダンスを織り交ぜた、にぎやかなものになりました。第1・第2学年が協力し合い創意工夫に満ちた発表会でした。日曜日のため、多くの卒業生も来てくださいました。ありがとうございました。

(幼児教育保育科)



フェスティバルの様子

学問のしおり

「オウム真理教のテキストはアニメやコミックである」、「オウム真理教の教義はサブカルチャーの残骸のパッチワークにすぎない」。週刊誌『AERA』のオウム特集（1995年4月24日）は、「オウムの共通言語はSFアニメだ」と指摘している。サブカルチャー評論家の大塚英志は「オウム事件はおたくの連合赤軍である」と喝破した。

オウム真理教が度々使った「最終戦争」、「ハルマゲドン」、「救済」、「コスモクリーナー」、「地震兵器」、「細菌兵器」などという言葉は、1970年代末から80年代の人気アニメやコミックによく登場する。とくに、宇宙の悪と戦う戦士の活躍を描いたSFアニメにおいて。

教祖麻原が最も熱中して読み、大きな影響を受けたと伝えられるものは、宗教学者の中沢新一の著作『虹の階梯』（チベット密教論）と、アニメ作家の宮崎駿の作品『風の谷のナウシカ』（核戦争後の廃墟、毒ガス満載）である。幹部信者は裁判の証言で、教祖麻原の指示にSFアニ

メを連想したと度々述べている。

1950年代末から1960年代生まれの幹部信者にとっての共通体験は、若者のサブカルチャーであったアニメやコミックである。世紀末を控えて、1970年代末以降の圧倒的な流行は最終戦争的なものであった。彼らは、その空想性・妄想性を現実として生きることになる。SFアニメ・コミックの共通テーマは、文明社会の破滅や破滅後の世界を描くことで平和な今の虚構性を問うものであり、優れたメッセージ性があった。しかし、それは破滅後の世界そのものを受け入れる心性を一部の若者に浸透させていた。そして、教祖麻原の説教、「この世は汚れている」から「破滅させた方が世のため人のため」へ、幹部信者を簡単に超えさせてしまう。

オウム事件は、現代日本人の宗教観や宗教教団観、政治の保守化と経済の効率化、高度消費社会や情報化社会による虚構的現実の拡大、能力主義的競争社会、若者の生き方や価値観、教団の教義や組織構造、教祖麻原の劣等感や怨念、



なぜオウム事件は起きたのか

寺林 脩

などが相互に影響しあって作り上げた犯罪である。しかし、直接的原因は、「カルト」と「おたく」が1980年代後半に出会ったことではないだろうか。

1970年代末から1980年代にかけて、日本社会の政治的・経済的・社会的・文化的状況を背景にして、また現代日本社会特有の宗教状況を背景にして、新新宗教（霊・術系の救済財を提供）が教勢を拡大し、ある新新宗教は世紀末を控えてカルト教団に変貌していく。

明治以来の政府の宗教政策の影響を引きずって、現代でも多くの日本人は、宗教への社会的無関心と伝統的宗教の弱体化によって、成熟した価値基準の核としての宗教倫理をもてないでいる。また、政府やNGO、伝統的宗教などの連携によるカルト対策のシステムは存在しない。そのために、アメリカのサブカルチャーとしての終末観やカルトに無批判的な社会になっている。生きがいや超能力、神秘体験、親身な触れ合いや共同性を求める若者はカルトにはま

りやすい。

他方、1980年代の若者は、高度消費社会や情報化社会の進展に呼応して新人類（ブランド志向と高いメディア駆使能力）として姿を現し、その中から80年代後半にはおたく（アンバランスでマニアックなスペシャリスト）が登場し、若者のサブカルチャーの影響を強く受けることになる。教祖麻原と幹部信者は宗教・修業おたくであり、SFアニメ・コミックおたくであった。

教祖麻原と幹部信者、お互いの積極的な人間関係がオウム事件を起こした。彼らの行動は当然に厳しく断罪されねばならない。また、彼らを生み出した社会、そして彼らが作り上げた共同幻想の実現のためのテロを許した社会にも大きな問題がある。その社会とは百年来の日本社会であり、1970年代後半以降の現代の日本社会である。

（てらばやし おさむ 教授 社会学）

紫明祭を終えて 「お祭りバカ」

大谷大学学園祭実行委員会

委員長 白木澤 琴



「お祭りバカ」とはどんな人を言うのでしょうか。こんなことを考えたことはありますか。どうしたらもっと楽しい学園祭になるだろう？ どうすれば沢山の人が展示を見に来てくれるかな？ どうすれば沢山売れるかな？ ステージ発表は成功するかな？ 自分は見に來ただけという方でも、学園祭に誰と行こうかな？ 何を見ようかな？ 誰かいい人に会えるかな？ 学園祭に参加された方は少なからずこのような思いをもって臨んだのではないのでしょうか。このどれか一つにでも当てはまった方は「お祭りバカ」なんです。

学園祭はそれに携わる多くの方々の思いが一堂に集まり沢山のドラマが生まれる場です。つまり「お祭りバカ」が学園祭には必要なのです。どの団体でも学園祭に向けて準備を進める中で仲間と対立しながら幾度も試行錯誤を繰り返したと思います。辛くてどうして準備を進めてくれたのでしょうか・・・皆さん様々な思いがあったはずです。

私は3年間学園祭実行委員会に携わりました。決して楽な仕事ではありま

せん。ではなぜ続けられたか、それは単純に「お祭りバカ」だから。沢山の笑顔に出会えるから。そして多くのドラマの舞台を作れるからです。1年目、私は部員として参加し、後夜祭の司会をさせていただきました。しかしボロボロの司会でした。沢山苦労した分後夜祭を見に来てくださった方の笑顔が大きな励みとなったこと、多くの出会いがあったことを覚えています。ぜひ来年も学園祭をつくる側になりたい！ その思いで2年目からは幹部として携わることとなりました。今年には実行委員会幹部19名で学園祭を迎えました。学園祭というきっかけがなければ決して出会うことがなかった仲間たちです。今年から学園祭期間が短縮され、引継ぎ通りにいかない場面に何度も直面し、沢山苦労しました。皆の笑顔が見たいのに、自ら皆に嫌な思いをさせたこともありました。反省点は数多くあります。しかし投げ出したと思うことは一度たりともありませんでした。学園祭という沢山のドラマが繰り広げられる舞台を創ることができることに誇りを感じていたからです。またどんな時も「お祭りバカ」の幹部皆で

辛さ、楽しさ全てを共有し頑張ってきたからです。同学年も、後輩も尊敬できる人たちばかりで、本当に多くのことを気付かせてもらいました。

3年間を通して感じてきたことは、実行委員だけが学園祭を創っているのではないということ。沢山の学生がいて、教職員の方がいて、地域の方がいて、初めて学園祭が完成するのです。今年はこちらの思いが詰めこまれた「三縁新花～新たな絆、永久に咲かせて～」というテーマを掲げて運営してきました。皆さん、学園祭を機に新たな出会いがあったでしょうか？ これまでの絆を一層深めることはできたでしょうか？ 辛いことも楽しいことも全て含めて、今まで経験したことの無いドラマに出会うことはできたでしょうか？ このどれか一つにでも当てはまった方がいれば、「お祭りバカ」の私にとってこれ以上の喜びはありません。自分だけ楽しくてもつまらない、皆で楽しみたい！ これが「お祭りバカ」なのです。

最後になりましたが、今年度学園祭を運営するにあたりご協力賜りました教職員の皆様、地域の皆様、学生の皆様、OG・OBの皆様、そしてご来場くださった多くの皆様、本当にありがとうございました。「三縁新花～新たな絆、永久に咲かせて～」、このテーマのもと学園祭を機に花開いた絆を今後とも末永く深め、来年に繋げていきたいと思っています。





2006年度 秋季大会結果 —団体成績—

クラブ名	日程	対戦校	結果	会場
卓球部 (男子) 関西学生卓球連盟秋季リーグ戦 IV部Cリーグ 1位	8月31日 (木)	京都教育大学	○ 3 - 0	京都府立体育館
		大手前大学	○ 3 - 1	〃
	9月 1日 (金)	大阪電気通信大学	○ 3 - 0	〃
	9月 2日 (土)	桃山学院大学	○ 3 - 1	〃
	9月11日 (月)	大阪教育大学	○ 3 - 0	〃
	大阪工業大学	● 2 - 3	伏見港公園総合体育館	
	大阪府立大学	○ 3 - 2	〃	
IV-III部入替戦 III部昇格	9月16日 (土)	摂南大学	○ 3 - 2	東大阪アリーナ
卓球部 (女子) 関西学生卓球連盟秋季リーグ戦 III部Aリーグ 4位	8月31日 (木)	佛教大学	● 0 - 3	京都府立体育館
		京都女子大学	● 2 - 3	〃
		神戸大学	○ 3 - 1	〃
	大阪教育大学	○ 3 - 2	〃	
	兵庫県立大学	○ 3 - 2	〃	
硬式野球部 京滋大学野球連盟秋季リーグ戦 I部4位	9月 5日 (火)	佛教大学	● 1 - 2	西京極球場
	9月 6日 (水)	〃	● 1 - 3	〃
	9月10日 (日)	びわこ成蹊スポーツ大学	● 0 - 7	太陽が丘球場
	9月11日 (月)	〃	○ 14 - 3	〃
	9月12日 (火)	〃	● 2 - 6	あやべ球場
	9月23日 (祝)	京都創成大学	● 3 - 5	西京極球場
	9月24日 (日)	〃	○ 7 - 0	〃
	9月25日 (月)	〃	● 2 - 4	〃
	10月 7日 (土)	京都学園大学	● 2 - 4	太陽が丘球場
	10月 8日 (日)	〃	● 3 - 9	佛教大学園部グラウンド
	10月12日 (木)	花園大学	● 1 - 3	草津グリーンスタジアム
	10月13日 (金)	〃	○ 2 - 0	〃
	10月17日 (火)	〃	○ 2 - 1	太陽が丘球場
10月25日 (水)	〃	○ 4 - 1	草津グリーンスタジアム	
サッカー部 関西学生サッカー連盟秋季リーグ III部Aブロック3位	10月 1日 (日)	京都府立大学	○ 5 - 0	京都学園大学グラウンド
	10月15日 (日)	神戸市外国語大学	○ 6 - 0	神戸市外国語大学グラウンド
	10月22日 (日)	奈良大学	○ 8 - 0	大谷大学湖西キャンパス
	10月29日 (日)	大阪国際大学	○ 2 - 1	〃
	11月 5日 (日)	摂南大学	● 2 - 5	〃
	11月12日 (日)	兵庫大学	○ 5 - 2	〃
	11月19日 (日)	京都学園大学	○ 2 - 0	〃
	11月25日 (土)	滋賀大学教育学部	● 2 - 4	滋賀大学教育学部グラウンド
剣道部 (男子) 全日本仏教系大学剣道大会 1回戦敗退	9月24日 (日)	東洋大学	● 0 - 5	駒沢大学体育館
		佛教大学	● 0 - 7	〃
バスケットボール部 (男子) 関西学生バスケットボール連盟 リーグ戦 III部Bリーグ7位	9月 9日 (土)	京都精華大学	○ 80 - 68	京都精華大学体育館
	9月10日 (日)	滋賀大学	● 56 - 65	〃
	9月16日 (土)	神戸学院大学	● 62 - 101	〃
	9月17日 (日)	桃山学院大学	● 35 - 80	〃
	9月23日 (祝)	和歌山大学	● 64 - 75	京都府立体育館
	9月30日 (土)	兵庫県立大学神戸キャンパス	○ 85 - 69	桃山学院大学体育館
	10月 1日 (日)	奈良大学	○ 79 - 69	〃
	10月 8日 (日)	関西福祉科学大学	● 77 - 82	なみはやドーム
	10月14日 (土)	大阪外国語大学	● 66 - 81	京都精華大学体育館
	10月15日 (日)	神戸市外国語大学	○ 69 - 62	〃
	10月21日 (土)	四天王寺国際仏教大学	● 53 - 96	桃山学院大学体育館
バスケットボール部 (女子) 関西女子学生バスケットボール連盟 リーグ戦 III部2位	8月17日 (木)	和歌山大学	● 74 - 76	大谷大学本部キャンパス
	8月18日 (金)	大阪芸術大学	○ 103 - 24	〃
	8月20日 (日)	大阪産業大学	○ 93 - 74	桃山学院大学
	8月21日 (月)	奈良教育大学	○ 94 - 64	〃
	8月24日 (木)	兵庫県立大学神戸キャンパス	○ 92 - 63	大阪芸術大学
	8月29日 (火)	桃山学院大学	○ 73 - 54	京都大学
	8月30日 (水)	兵庫教育大学	○ 91 - 57	東大阪アリーナ
	9月 1日 (金)	奈良女子大学	○ 68 - 38	〃
	9月 2日 (土)	神戸大学	○ 68 - 64	関西大学
	9月 6日 (水)	常磐会短期大学	● 58 - 96	奈良教育大学
III部-II部入替戦 III部残留	9月16日 (土)	佛教大学	● 65 - 99	東大阪アリーナ
	9月17日 (日)	〃	● 51 - 66	〃
ソフトテニス部 (男子) 関西学生ソフトテニス連盟秋季リーグ戦 V部Cクラス3位	9月19日 (火)	京都外国語大学	○ 5 - 0	佛教大学
		兵庫県立大学西学舎	● 2 - 3	〃
		佛教大学	● 1 - 4	〃
ソフトテニス部 (女子) 関西学生ソフトテニス連盟秋季リーグ戦 VI部Aクラス3位	9月17日 (日)	近畿福祉大学	● 1 - 2	奈良大学
		大阪学院大学	○ 2 - 1	〃
		奈良大学	● 1 - 2	〃

クラブ名	日程	対戦校	結果	会場
バレーボール部 (男子) 関西学生バレーボール連盟 秋季リーグ戦 V部3位	9月24日 (日)	花園大学	○ 3 - 1	大谷大学本部キャンパス
	10月1日 (日)	追手門学院大学	○ 3 - 0	兵庫県立大学神戸学園都市キャンパス
	10月8日 (日)	京都府立大学	● 1 - 3	〃
	10月9日 (祝)	大阪外国語大学	○ 3 - 1	追手門大学
	10月15日 (日)	大阪国際大学	○ 不戦勝	京都府立大学
	10月22日 (日)	滋賀大学	● 0 - 3	大谷大学本部キャンパス
	10月29日 (日)	兵庫県立大学神戸学園都市キャンパス	○ 3 - 0	〃
バレーボール部 (女子) 関西学生バレーボール連盟 秋季リーグ戦 VI部優勝 V部昇格	9月17日 (日)	京都光華女子大学	○ 3 - 0	大谷大学本部キャンパス
	9月24日 (日)	摂南大学	● 2 - 3	摂南大学
	10月8日 (日)	大阪芸術大学	○ 3 - 0	姫路獨協大学
	10月9日 (祝)	華頂短期大学	○ 3 - 1	関西福祉大学
	10月15日 (日)	兵庫大学	○ 3 - 0	大谷大学本部キャンパス
	10月22日 (日)	姫路獨協大学	○ 3 - 2	摂南大学
	10月29日 (日)	関西福祉大学	○ 3 - 0	姫路獨協大学
バドミントン部 (男子) 関西学生バドミントン連盟 関西リーグ VI部5位	10月1日 (日)	追手門学院大学	● 0 - 5	追手門学院大学
		四天王寺国際仏教大学	● 1 - 4	〃
	10月7日 (土)	京都外国語大学	● 2 - 3	大谷大学本部キャンパス
		大阪外国語大学	● 2 - 3	〃
	10月14日 (土)	大阪国際大学	● 1 - 4	〃
バドミントン部 (女子) 関西学生バドミントン連盟 関西リーグ III部2位	9月16日 (土)	滋賀大学教育学部	○ 3 - 2	大谷大学本部キャンパス
		神戸大学	○ 3 - 2	〃
	9月18日 (祝)	関西学院大学	● 1 - 4	関西学院大学
	9月19日 (火)	滋賀女子短期大学	○ 4 - 1	大谷大学本部キャンパス
	9月20日 (水)	京都大学	○ 3 - 2	〃
III部-II部入替戦 III部残留	9月27日 (水)	大阪体育大学	● 0 - 3	東淀川体育館
ラクロス部 関西学生ラクロスリーグ戦 III部Bブロック 2位	8月23日 (水)	神戸学院大学	● 3 - 16	浜寺公園運動競技広場
	9月3日 (日)	京都橘大学	○ 13 - 5	京都工芸繊維大学
	9月18日 (祝)	京都ノートルダム女子大学	○ 14 - 5	鶴見緑地運動場
アメリカンフットボール部 関西学生アメリカンフットボール連盟 秋季リーグ戦 III部Cブロック 5位	8月26日 (土)	京都外国語大学	● 7 - 9	EXPO FLASH FIELD
	9月16日 (土)	京都府立大学	● 6 - 52	宝ヶ池球技場
	10月1日 (日)	京都学園大学	● 0 - 43	〃
	10月14日 (土)	佛光大学	● 0 - 23	〃

2006年度 秋季大会結果 一人成績

●硬式野球部

<京滋大学野球連盟 I部秋季リーグ戦>
於 太陽が丘球場他 (8月28日~10月26日)

【ベストナイン】

外野手 谷川 慎吾
(文学部 人文情報学科 第1学年)

【打撃ベストテン】

第5位 谷川 慎吾
(文学部 人文情報学科 第1学年)

●スキー競技部

<第20回天橋立ローラースキー大会>
於 京都府宮津市世屋高原 (9月30日~10月1日)

【成年男子】

全関西2部3位
藤原 崇
(文学部 真宗学科 第4学年)

【成年女子】

全関西2部2位
内畑 加容子
(文学部 史学科 第4学年)

●跆拳道部

<拳樹会オープンテコンドー大会>
於 大阪中央体育館 (12月2日)

【一般男子中級フライ級】

優勝 禿 孝宏
(文学部 真宗学科 第3学年)

準優勝 平 良真一

(文学部 社会学科 第3学年)

【一般男子初級ウェルター級】

第3位 吉田 広輝
(文学部 社会学科 第1学年)

【一般女子初級フェザー級】

第3位 清水 麻友
(文学部 哲学科 第1学年)

●バドミントン部

<京都学生バドミントンクラス別大会>
於 京都大学他 (11月12日~11月23日)

【男子シングルスAクラス】

第4位 湊 一真
(短期大学部 文化学科 第2学年)

【男子ダブルス】

第4位 湊 一真
(短期大学部 文化学科 第2学年)

發 知道 隆

(文学部 真宗学科 第2学年)

【女子シングルスAクラス】

ベスト8 藤田 綾乃
(文学部 社会学科 第1学年)

【女子ダブルス】

第2位 藤田 綾乃
(文学部 社会学科 第1学年)
櫻井 彩香
(文学部 社会学科 第1学年)

年度末・年度始めの日程

2006年度末
後期試験

1月24日(水)～2月2日(金)

2007年度始め

オリエンテーション開始

4月2日(月)

前期授業開始

4月9日(月)

聴講登録表提出期間

4月11日(水)～13日(金)

教務部

修士論文・卒業論文の口述試問等の日程

2006年度提出の修士論文・卒業論文について、口述試問を次のとおり実施します。日程発表日に『教務部①』掲示板で時間等をお知らせしますので、各自確認のうえ口述試問を受けてください。

	日程発表日	試問期間
修士論文	1月9日(火)	1月15日(月)～2月1日(木)
卒業論文	1月18日(木)	1月23日(火)～2月1日(木)

後期定期試験について

今年度後期試験は、1月24日(水)から2月2日(金)までの期間に実施します。試験方法、時間割等詳細は、1月9日(火)に教務部掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表します。

後期追試験について

病気・不慮の事故等の事由で後期試験を受けられなかった学生について、次のとおり追試験を実施します。(詳細は『履修要項』で確認してください。)

1. 受験願受付期間

当該試験実施日から原則として1週間以内となります。

詳しい日程は教務部掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」で確認してください。

2. 追試験日

2月14日(水)・15日(木) (レポート提出締切日は2月14日(水)です。)

真宗大谷派教師修練・補任式について

後期修練 (文学部第4学年・短期大学部第2学年主対象)

- 第1班 2月5日(月)～2月11日(日)
- 第2班 2月14日(水)～2月20日(火)
- 第3班 2月23日(金)～3月1日(木)
- 第4班 3月2日(金)～3月8日(木)
- 第5班 3月9日(金)～3月15日(木)

前期修練

(短期大学部第1学年主対象)

3月23日(金)～3月29日(木)

教師補任式 (全学合同)

3月17日(土)に举行されます。式の時間等詳細は2月27日(火)に教務部掲示板にてお知らせします。

修了・卒業予定者氏名、並びに諸資格

(教職・保育士・大谷派教師・学芸員・社会福祉士) 単位修得合否の発表について

2月27日(火)午前10時に教務部掲示板にて発表します。卒業・修了予定者については大学ホームペー

ジ「学生向け情報提供システム」にも掲載します。各自確認してください。

なお、電話等での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

文学部の進級者の発表について

3月12日(月)午前10時に教務部掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表しますので各自確認してください。

なお、電話等での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

今年度卒業予定者の証明書の発行について

今年度卒業予定者で、卒業式当日に卒業証明書・成績証明書(後期の成績を含むもの)・資格取得証明書が必要な場合は、次の期間に申込みをしてください。

2月27日(火)～3月13日(火)

卒業式当日、卒業証書・学位記等とともにお渡しします。

※この期間後の申込みについては、卒業式の翌日以降の発行になります。

年度末の証明書発行について

3月23日(金)～3月30日(金)の期間は学年切替え作業のため証明書自動発行機は使用できません。必要な証明書は、各自で前もって発行しておいてください。

科目等履修生・聴講生制度について

卒業後も開講科目を受講することのできる「科目等履修生・聴講生」制度を実施しています。

在学中に資格課程の単位を未修得のまま卒業した場合等は、この制度によって必要な科目を履修することができます。

ただし、資格課程を履修希望の場合、出願資格・受講可能科目等に条件がありますので、早めに教務部窓口にて相談してください。

出願書類配付 2月下旬(予定)

出願期間 3月26日(月)～4月4日(水)

「小学校教諭一種免許状取得プログラム」出願書類配付及び出願説明会について

昨年11月、神戸親和女子大学と協定を締結しました。これにより、いよいよ本年4月から「小学校教諭一種免許状取得プログラム」がスタートします。(本誌16頁参照)

このプログラムは出願者の中から学内選考により履修許可者を決定します。つきましては、「出願書類配付及び出願説明会」を右記日程で行います。希望者は必ず参加

してください。

なお、本プログラムは、中学校教諭一種免許状取得を前提としたものであり、小学校教諭一種免許状のみの取得はできませんのでご注意ください。

また、本学学費とは別に神戸親和女子大学通信教育部における科目等履修にかかる費用が必要となります。

●今後のスケジュール

3月中旬 出願書類配布・出願説明会

3月下旬 出願開始

4月上旬 出願締め切り・学内選考

4月中旬 履修許可者発表(費用振込)

※詳細は、決まり次第教職課程掲示板(至誠館1階)及び本学ホームページ「学生向け情報提供システム」でお知らせします。

学 生 課

学生証の返還及び更新について

3月16日(金)に卒業・修了される学生諸君は、卒業式当日に学生証を返還してください。ただし、学生証の有効期限は3月31日までですので、学割などを使用される方は後日返還(郵送可)してください。

在学生については、新年度オリエンテーション期間の4月2日(月)に「2007年度在籍確認シール」を配付します。受け取り後、直ちに学生証裏面のシールを貼り替えて有効期限を更新してください。新年度のシールが貼付されていない

学生証は無効となります。

新年度オリエンテーションは、4月2日(月)～4月7日(土)の予定です。入学式(4月3日)前日から始まりますので注意してください。詳細決定後、3月上旬に保証人宛に郵送、ならびに学内に掲示します。

住所(帰省先・下宿住所)・電話番号等の変更は、速やかに届出を

保証人住所(帰省先など)・現住所(下宿住所)・電話番号(携帯電話)などに変更が生じた場合は、速

やかに学生課で「学籍事項登録票(変更)」を受け取り、修正手続きをしてください。修正されていない

場合、大学からの重要かつ緊急の連絡ができずトラブルの原因となりますので注意してください。

海外渡航についての注意

海外へ渡航する場合には、「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の了承を得たうえで必ず学生課へ提出してください。

近年、海外では地震・台風等の自然災害や戦争・紛争等、不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。渡航にあたっては、以下のホームページにて、渡航先の治安状況、衛生状態等を調査し、情報をこまめにチェックしたうえで慎重に計画を立ててください。

また、利用する旅行会社・航空会社について信頼できる会社であるか、緊急連絡体制は万全であるか等を確認し、自分自身を守るため海外旅行保険に必ず加入してください。

厚生労働省検疫所ホームページ
(海外渡航者のための感染症情報)

<http://www.forth.go.jp/>

外務省海外安全ホームページ

<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

帰国後、体調に変化がある場合は、すぐに最寄りの保健所に相談後、大学へ連絡してください。

本学連絡先

075-411-8120 (保健室)

総務課

卒業証書並びに学位記授与式について

2006年度卒業証書並びに学位記授与式を次のとおり挙行いたします。

日程：2007年3月16日(金)

		第1部	第2部	第3部	真宗大谷派教師資格取得 コース履修生修了証書授与式
対象専攻・学科		大学院：真宗学・仏教学 哲学・社会学 文学部：真宗学科・仏教学科 哲学科・社会学科	大学院：仏教文化・国際文化 文学部：史学科・文学科 国際文化学科 人文情報学科	短期大学部：仏教科・文化学科 幼児教育科	真宗大谷派教師 資格取得コース履修生
卒業証書・ 学位記授与式	時間	9時30分	11時15分	13時00分	14時30分
	場所	講堂	講堂	講堂	尋源講堂
学位記・証書・ 履修単位通知書等配付	時間	10時30分	12時15分	13時50分	
	場所	1号館(詳細は後日)	1号館(詳細は後日)	2号館(詳細は後日)	

※証書等の配付方法について

講堂での式典終了後、引き続き各学科ごとに教室に分かれ、証書等を各学科の代表の先生より卒業生の皆さん1人ずつにお渡しいたします。

※お願い

卒業予定者の皆さんへ：講堂での式典終了後、各学科ごとに指定された教室へ速やかに移動してください。式典のスムーズな進行にご協力ください。

在学生の皆さんへ：講堂での式典終了後、卒業生の方々に証書等の配付をすぐに行いますので卒業生の移動、式典等のスムーズな進行にご協力をお願いします。

構内施設のアスベストの使用状況について

昨年、構内全施設を対象にアスベストの使用状況についての調査を実施しました。飛散の恐れのあるアスベストが含まれると思われる材料の使用状況を点検したところ、普段人が立ち入ることのない次の6箇所のアスベスト含有材料が確認されました。

- ① 1号館・・・1箇所（屋根裏）
 - ② 2号館・・・2箇所（機械室）
 - ③ 博綜館・・・1箇所（天井裏）
 - ④ 講堂棟・・・2箇所（天井裏）
- いずれもアスベストの含有量は1%以下でした。昨年までの基準では1%以下は報告対象外でしたが、本年9月の法改正により基準

が変更され、0.1%を超え含有するものは報告が義務付けられました。これを受け学内の①～④について文部科学省に再報告するとともに、指導に基づく対応を予定していることをお知らせします。

（総務課）

校友センター

卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会のご案内

本学では、毎年本学を卒業・修了し、新たに同窓会員となられる方々を対象に、大谷大学・大谷大学短期大学部と大谷大学同窓会の共催で「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」を開催しています。

今年も昨年同様、市内のホテルを会場として実施し、当日は本学教職員も出席の予定です。サークルによるアトラクションも企画しております。

卒業証書・学位記授与式にご出席の父母兄弟の皆さまもお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

- 日時 3月16日(金)
- *卒業証書・学位記授与式終了後
16:30～18:30
- 会場 京都宝ヶ池プリンスホテル
地下2F プリンスホール
[交通機関]
地下鉄烏丸線「国際会館」下車
- 立食パーティー形式
- *「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」の案内状は、卒業・修了通知書とともにお届けいたします。

なお、当日は各自会場へ直接ご集合ください。



昨年の祝賀会風景

〈お願い〉会場内は禁煙とさせていただきます。また、在学生の参加はご遠慮ください。

図書館

年度末の図書館利用について

2007年1月6日(土)からの図書館の開館予定は次のとおりです。

都合により変更がある場合は、掲示、HPにてお知らせします。

貸出中の図書は、返却日までに必ず返却してください。

期間	開館状況	期間	開館状況
1月6日(土) 1月8日(祝)	■特別開館 10:00～17:30	2月7日(水) 4月2日(月)	■短縮開館 2/7(水)～3/15(木) 10:00～17:30 3/19(月)～3/23(金) 13:00～17:00 (土・日・祝日) 休館 ※3/7(水)は一般入試[第2期]のため休館 ※3/16(金)は卒業証書並びに学位記授与式のため休館(図書返却・館内見学は受け付けます) ※3/24(土)～4/2(月)は館内整理のため休館 ※3/8(木)の最終返却期限以降は、図書の貸出はいたしません。館内閲覧のみです。
1月9日(火) 1月16日(火)	■平常開館 (月)～(金) 9:00～19:30 (土) 10:00～17:30 (日・祝日) 休館	4月3日(火)	入学式 休館
1月17日(水) 2月1日(木)	■後期試験 対応期間 (月)～(金) 9:00～20:00 (土) 10:00～17:30 (日・祝日) 休館 ※1/20(土)～1/21(日)は大学入試センター試験実施のため休館		
2月2日(金)	■平常開館 9:00～19:30 ※2/3(土)～2/6(火)は一般入試[第1期]のため休館		

※入学式翌日から開館します。

財 務 課

2007年度 前期学生納付金(学費)の納入について 納入期限は4月20日(金)―締切日厳守―です。

前期学生納付金の納入期限は4月20日(金)〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に2007年3月31日に大学より一斉発送します。保証人住所、現住所、電話番号など、学籍事項に変更があった場合は必ず学生課に「学籍事項登録票(変更)」を提出してください。また、振込依頼書が届かない場合、または紛失、破損した場合には再発行しますので、財務課まで申し出てください。

なお、事情により期限内納入が困難と予測される場合には、必ず納入期限までに、学生課に相談し、学費延納の手続きをしてください。

手続きには「学費延納許可願」(所定用紙)および学生納付金負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

○2007年1月4日から、「本人確認手続きに関する法令」の改正により、金融機関において10万円を超える現金の振込みを行う場合には、**本人確認書類の提示**が必要となりました。(ATMでは、10万円を超える現金の振込みがで

きません。ただし、現金ではなく預金口座を通じて振込みを行う場合は、ATM・窓口のいずれにおいても、これまでと同様の手順・方法で振込むことができます。)

○学費納入の際には、指定の振込用紙とともに、**振込みの手続を行う方の本人確認書類**(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)をご用意のうえ、金融機関の窓口をご利用ください。

2007年度前期学生納付金一覧		学 費		その他の費用			合 計 額
		授 業 料	施 設 費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	
文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	591,000
短期大学部	仏教科・文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	幼児教育保育科(幼児教育科)	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000
大 学 院	修士・博士後期課程(2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000	316,000
	修士・博士後期課程(2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000	356,000

進路就職センター

就職支援企画

●履歴書写真撮影(有料) 2008年3月卒業・修了予定者対象

今後必要となる履歴書用写真を学内において、割安で撮影することができます。
(1月末日に自宅に送付)

学内撮影

日 程：1月10日(水)・11日(木)・12日(金) 10時～17時

会 場：至誠館2階会議室

費 用：20枚セット2,000円・40枚セット3,000円

(税込み・CD-ROM希望者は別途500円が必要)

*詳細は、進路就職センターの掲示・学生向け情報提供システムにて確認してください。

●面接実践対策講座 2008年3月卒業・修了予定者対象

採用試験において、面接はほとんどの企業で実施されています。面接対策は1人でできるものではありません。集団面接・個人面接の対策を行い、自信を持って採用試験に臨みましょう。

日 程：2月7日(水)・8日(木)・9日(金)・13日(火)・14日(水)・16日(金)・19日(月) 3月1日(木)・2日(金) 13時～17時30分

会 場：J103教室(2月16日は1307教室)

申込期間：1月15日(月)～2月1日(木) 17時まで

費 用：無料(いずれか1日を選択し、進路就職センター窓口へ申し込むこと)

*各日60人限定・先着順

●就職ガイダンス 2008年3月卒業・修了予定者対象

まもなく会社説明会や企業セミナーなどの就職活動がスタートします。就職活動にあたっての注意事項・応募書類など、重要事項について説明します。

日 程：2月20日(火) 10時～11時30分

会 場：1214教室

●学内企業セミナー 2008年3月卒業・修了予定者対象

学内で開催される合同企業セミナーです。4日間にわたり約100社の企業が参加し、毎年このセミナーから多くの内定がでてきます。実践的な就職活動の始まりともいえる学内企業セミナーに、ぜひ参加してください。

日 程：2月20日(火)・21日(水)・22日(木)・23日(金) 13時～16時30分

会 場：1号館の教室

*詳細は、進路就職センターの掲示・学生向け情報提供システムにて確認してください。参加企業は1月中旬に発表します。

教職支援センター

教員採用試験説明会

文学部第3学年・修士課程第1学年・博士後期課程第2学年対象

次年度の教員採用試験に向けて、対策や傾向などを説明します。教員を希望する学生は必ず出席し

てください(対象学年以外でも教員を希望する学生は、ぜひ出席してください)。

日 程：1月16日(火)
17時50分～19時20分
会 場：J103教室

教員受験特別講習(教職教養第2回)の開催

各都道府県の教員採用選考試験から注目すべき問題をピックアップし、これを解きながら(ワークショップも取り入れ)、第1回の学習を復習・深化・統合し、横断的の考察ができることを目指します。

講 師：高田 渉 先生
定 員：30名
受 講 料：10,000円

申込期間：2006年12月5日(火)
～2007年1月23日(火)
17時まで

	日 程	時 間
2月	7(水)・8(木)・9(金)・13(火)・15(木)・16(金)	14:30～16:00
	20(火)・21(水)・22(木)・26(月)	
3月	5(月)・8(木)・9(金)・13(火)・14(水)・15(木)	
	20(火)・22(木)・27(火)・29(木)	

※教室は申込受付時に連絡

教員になるには、どうすればいいの? ①

「何を勉強すればいいのだろう?」「いつごろ試験があるのかな?」「受験勉強は何から始めたらいいの?」など教員になりたいと思い始めている人は、わからないことばかりだと思います。概略を説明しましょう。

～教員採用試験とは～

7月上旬から7月下旬にかけて1次試験が行われ、8月上旬～9

月上旬に2次試験が実施されます。合格者は「教員採用候補者名簿」に登載され採用決定を待つ形式が取られています。

試験内容は、教職教養・一般教養・専門科目・面接・論文・その他実技などです。出題内容は、多くが中学校レベルを中心に高校までの知識で十分対応可能です。ただ、範囲が広いので、過去問題の分析と傾向を把握す

ることにより焦点を絞ることができます。

～近年の採用試験の動向は～

受験者も、採用者数も増加の傾向にあります。特に小学校・中学校では、少人数指導の導入など指導上の理由により採用者数が大幅に増加しています。

2007年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部および短期大学部の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。

2007年度の文学部と短期大学部の授業料については今年度同様、スライド率を0.00%とし、2006年度の授業料の額(795,000円)のまま据置とします。また、施設費も2006年度と同様、文学部真宗・仏教・哲学・社会・史学・文学・国際文化学科および短期大学部仏教科・文化学科は200,000円、文学部人文情報学科は350,000円、短期大学部幼児教育保育科・幼児教育科は220,000円とします。なお、大学院の授業料も2006年度の額480,000円のまま据置とし、施設費も2006年度と同様、2006年4月以降入学者は200,000円、2006年3月以前入学者は120,000円です。

2006年度では、学生の皆さんの教育や研究環境の改善、学生生活の充実を目指して様々な事業を実施しています。

教育の面では、新たにGLOBAL SQUARE(語学学習支援室)を開設し

ました。本学では、多くの学生の皆さんが短期語学研修やゼミ旅行などで在学中に海外へ出かけています。これから留学したい、外国語会話を身につけたい、あるいは外国人留学生と交流したいという学生の皆さんの外国語学習や留学を支援いたします。このGLOBAL SQUAREでは、専門の教員による少人数語学セミナーや、留学生のための日本語講座などの語学学習サポート、留学や外国語検定などの情報提供や相談、そのほかにも、コンピュータを使った語学学習システムなどのサービスを提供しています。

学生の皆さんの就職支援に関しましては、従来からの支援事業に加えまして、2006年度から大谷大学独自のインターンシップを実施しました。これには、職業観や就労意識を高め、体験を通して働く意味と仕事の仕組みを知り、自らのキャリアに対して明確な考えを築くことが期待できます。また、他にもキャリア支援のためのリレー講義を開講し、一般企業で働く方のみならず、NPO法人で活躍されている方な

ど多彩な講師を迎え、会社の仕組みや働くことの喜びについてお話いただくとともに、働くこと、仕事をするこの意味、生きることとのつながりについて学習できます。

施設の面では、1号館にあった学生相談室1(ビッグバレー)を改修し、後期授業開始日から、Big Valley Cafe(ビッグバレーカフェ)としてリニューアルオープンしました。オープンデッキを増設し、開放感を持たせるとともに座席数も増加しました。食事、休憩、待ち合わせなど自由に利用できるようにしています。

本学に在籍する学生の皆さんがさまざまな<学び>と<出会い>を通して真に人間として身につけなくてはならない智慧を得ていただくよう、今後より一層教育研究の充実をはかり、快適に学生生活が過ごせるようにキャンパス環境を整備してまいります。皆様のご理解の程よろしくお願い申し上げます。

(大谷大学・大谷大学短期大学部)

(A) 文学部

(年額)

学費	学科	真宗・仏教・哲学・社会・史学・文学・国際文化学科	人文情報学科
授業料		795,000	795,000
施設費		200,000	350,000
合計		995,000	1,145,000

(2007年度入学者は入学金200,000円が必要)

(B) 短期大学部

(年額)

学費	学科	仏教科・文化学科	幼児教育保育科(幼児教育科)
授業料		795,000	795,000
施設費		200,000	220,000
合計		995,000	1,015,000

(2007年度入学者は入学金200,000円が必要)

(C) 大学院文学研究科

(年額)

学費	課程	修士課程	博士後期課程
授業料		480,000	480,000
施設費		200,000	200,000
合計		680,000	680,000

(2007年度入学者は入学金200,000円が必要)
(2006年3月以前の入学者の施設費は120,000円)

谷大エリア散策

第26回 ^{けあきしゃ}アトリエ^{きや}櫨舎さん (ガーデニングショップ)

北大路烏丸東入南側のガーデニングショップ「アトリエ櫨舎」の信田祥恵さんにお話を伺いました。ガーデニングショップとクリーニング店を営まれています。



信田祥恵さん

—お店はいつ頃からですか

「アトリエ櫨舎」は平成10年の3月からです。園芸関係の仕事をしていた主人が念願の長男誕生を機に独立して、この店を始めました。輸入園芸雑貨を中心にテラコッタ鉢、アイアン製品、花苗等を扱っています。

クリーニング店はおじいさんの時代からやっていますので、80年くらいになるのでしょうか。当時はこの敷地もクリーニング店で、家で品物を洗い、家族と数人の職人さんできりもりしていました。大谷大学の応援団の方が学ランをよく出してくださっていたそうです。父ももう亡くなりましたので店は縮小し、今では母が品物の取り次ぎをし、古くからのお得意様への配達業務も続いています。

—お店の特徴は

植物やガーデニング材料を販売するほか、お庭のプランニングやデザイン、施工なども手掛けています。街の真中で広いお庭を望むのは難しいですから、玄関アプローチやベランダなどを利用して、なるべくそのお宅にある石やレンガなどの素材を使い、小さなスペースでもグリーンを楽しんでいただけるようにデザインしていま

す。お客さまは「お友達の家を訪ねたらお庭が素敵だったので」と紹介や口コミで来てくださる方が多いです。ガーデニング雑誌を片手に遠方からお越しになる方もおられます。

また商品は、既製品をそのまま売るのではなく、ひと手間かけてオリジナルの製品を作っています。(お店には祥恵さんが素敵なイラストを描かれたプレートや看板が飾られています)私はもともと絵を描いていたわけではないのですが、お客さまの、こんなものがほしいとい

う要望に応じて作り始めました。この看板も「ペットの害に悩んでいるけれど、ご近所に角が立つ言い方は



「飼い主様…
かわいいペットの後始末、
よろしく願いいたします。」

したくないし」と相談を受けて作りました。以前に鳥の巣箱をお作りしたお客様からは、小鳥が巣づくりをはじめたと写真をいただいたこともあります。こうしたお客さまとのお付き合いを大切にしていますし、楽しいことでもあります。

—狭いスペースでも植木や花を楽しむコツを教えてください

“立体的に”花を飾ることがポイントです。壁面を有効に使うためにラティスなどを利用し、掛ける、吊るすという工夫をすれば十分に楽しめますよ。

—最近はどうなご注文が多いですか

お庭だけでなくお部屋のリフォームなど、家の中のことにもご注文をいただくことが増えました。庭を大切にされているお客さまは、ライフスタイルにもこだわりを持っておられる方が多く、こちらも長年のお付き合いで趣味やお

好みを承知していますから。なんとなく「こうしたい」と思っておられても、イメージを形にできていなくて、お話を重ねていくうちに「そういうふうにしたかった」と納得されることが多いですね。最初は「なんとかしてほしい」というお願いから始まりますが、お断りしたことはありません。難しいご注文でも、頭をひねって考えて工夫することを楽しんでいま

—今後、目指しておられることは

オリジナルの雑貨をもっと充実させて、インターネットで販売したいですね。それから“手のかからない庭づくり”を提案していきたいです。共働きの方が増えて、ますます忙しくなる時代だからこそ、家の中にグリーンスペースを持っていたきたいのです。手がかからず楽しめて、生活の中に自然に緑が入り込んでいるような、小さくても素敵なお庭を作りたいですね。



店舗の様子

—最後に、お店の名前の由来を教えてください

私たちが週末に利用している滋賀県のログハウスの近くに、樹齢100年ほどになる大きな櫨の木があります。その木のようにしっかりと地に根を下ろし、アイデアや創造力を天高く広げる櫨の枝のように広げていきたいと願って付けました。

—ありがとうございました

写真でふりかえる 大谷大学今昔

旧二号館の建物

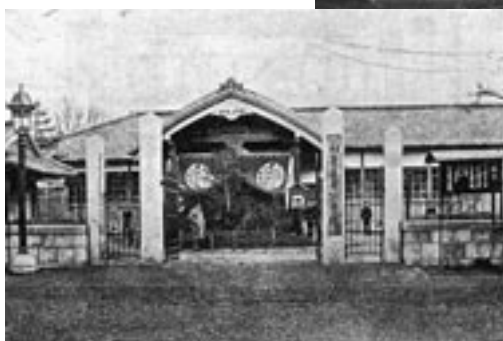
佐々木 令信



旧二号館



「初音」の紋が刻された瓦



初音尋常小学校正面

(提供：京都市教育委員会『閉校記念誌 初音 輝ける124年のあゆみ』)

現在の二号館が昭和五十二(一九七七)年に建てられる前、その場所には旧二号館があり、木造で大きな玄関をもつ独特な雰囲気の建物であった。事務室、研究室、大学院の教室、ゼミ室、物理の実験室、卓球場等々と同様に用いられ、また、昭和四十一(一九六六)年に短期大学の幼児教育科が新設されると、ピアノレッスン室などにも使用された。

しかし、この建物が、明治初年に建てられた小学校の建物を移転したものであったことを知る人は少ないのではないだろうか。旧二号館は、もと初音尋常小学校の講堂の建物を移転し、内部を改造して大正十三(一九二四)年十一月に落成した。建物は、七間に十五間の木造和洋折衷式のもので、移転当初は、学長室、事務室、教員室、応接室に充てられていた。

初音小学校は、明治二(一八六九)年に上京第二十六番組小学校として開校し、その後、明治二十六(一八九三)年に姉小路東洞院に移転され、さらに明治四十一(一九〇八)年の小学校令改正にあたって、初音尋常小学校と改称された。講堂は、明治二十六年(一八九三)の移転落成時点で確認でき、少なくともそれ以前の建築であることが分かる。

それより以前の明治初年の小学校の建物が保存された事例としては、明治八(一八七五)年に建てられた京都市の旧成徳小学校の講堂を、城陽市寺田の高岳寺が明治四十二(一九〇九)年に買取り、本堂として使用されてきたものを挙げるができるが、この建物は国内最古級の学校建築という点で、下京区の学校歴史博物館に玄関部分が保存されることが先頃決定された。

初音小学校は、明治四十二(一九〇九)年以降、児童数の増加にもなつて校舎の増改築が行われていくことになるが、大正十三(一九二四)年に教室や体操場を新設するに際して、それまでの講堂の部分を撤去し、それを大谷大学に移転、改造したものであった。旧二号館の玄関の上の瓦には、初音小学校の校章の紋が入っていた。なお、初音小学校はその後昭和十八(一九四三)年に日彰小学校に統合され、その日彰小学校も近隣数校と統合され高倉小学校となり今は無い。

大谷大学の建物では、尋源館がその歴史を誇るものであるが、今はなき旧二号館は、京都の町の歴史と大谷大学とのつながりを示すもう一つのシンボルでもあったといえる。

(NANA) れいしん 教授 日本仏教史

学生相談室から



「このころの温度を測る温度計があると便利だと考えて、温度計をつくってみた。サーモメータのような器具ではなく、質問形式のリーフレットとなった。いくつかの質問に答えることで、このころの温度が測定でき、このころの健康チェックができるしかけになっている。」

その中の項目をひとつ紹介してみたい、「意欲があり、あたらしいことにチャレンジできる」に該当すれば、このころの温度は健康レベルである指標である。また、「やや、むしろかしい問題に遭遇しても解決へ努力できる」も、健康レベルの指標として考えることができる。反対に「イライラ感が湧き上がってくる」や、「不安感が湧いてくる」、そして「おつくうで意欲がない」などに該当すれば、「このころの温度」が低下している「目安」と考えることができる。

過重なものを抱えてヘトヘト、また、このころが傷つくことと温度が低下することが理解できる。このころの温度が下がると「ものごとの処理能力」が低下してしまうことも納得で

このころの温度計

佐賀枝 夏文

学生相談室の開室について

場所	曜日	相談室	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	1 2	谷口奈青理	10時30分～16時00分
	火曜日	1 2	西澤伸太郎	10時30分～16時00分
	水曜日	1	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時00分～16時00分
		2	佐賀枝夏文	10時30分～14時00分
	木曜日	1 2	讓 西賢	10時30分～16時00分
	金曜日	1 2	久保 聡史 菊岡 千夏	10時30分～16時00分

「このころが冷えている」と「このころの体力」が低下することも運動しているようだ。ものが首尾よくはこばない諸氏は、このころの温度が低下していると考えて、ひとまず、スローダウンしてみてもいいかがだろうか。

(さがえ なつふみ)

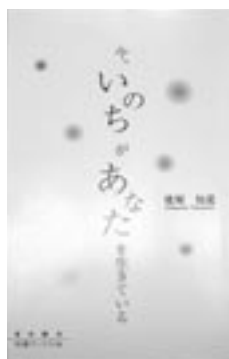


出版物紹介

『0歳から5歳の
「集団づくり」の大切さ
—ひとりぼっちをつくらない』
射場美恵子 著
かもがわ出版
(2006.11) 160頁



『今、いのちが
あなたを生きている』
延塚知道 著
真宗大谷派宗務所出版部
(2006.11) 77頁



『こころの取扱い説明書
—こころの体力測定編』
佐賀枝 夏文 共編著
三畳間文庫
(2006.11) 6頁

『語りえぬ真実：
真実委員会の挑戦』
プリシラ・B・ハイナー 著
阿部利洋 訳
平凡社
(2006.10) 448頁

『関山和夫博士喜寿記念論集
仏教 文学 芸能』
関山和夫博士
喜寿記念論集刊行会 編
石橋義秀、岩田宗一 分担執筆
思文閣
(2006.11) 1,012頁

『異界を創造する—英米文学に
おけるジャンルの変奏』
玉井暲、新野緑 共編
宮川清司 分担執筆
英宝社
(2006.11) 388頁

『Nyāya-Vaiśiṣṭha: Felicitation
Volume of Prof. V. N. Jha』
Manabendu Banerjee 編集
山本和彦、長崎法潤 分担執筆
Sanskrit Pustak Bhandar
(2006.11) 802頁

『現代倫理学事典』
大庭健 編集
池上哲司、荒牧典俊、
鈴木幹雄、須藤訓任 分担執筆
弘文堂
(2006.12) 1,100頁

『心理学実習 基礎編』
高石浩一、谷口高士 共編著
谷口奈青理 分担執筆
培風館
(2006.12) 154頁

「大谷大学広報07—春」発行のお知らせ

「大谷大学広報07—春」の発行を4月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

①博綜館ピロティエ（博綜館入口横） ②至誠館（学生課カウンター前） ③響流館（教育研究支援課カウンター横） ④学内食堂
⑤各研究室 ⑥1号館1階 ⑦2号館1階

また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。

http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html

研究室だより

総合研究室から

1月6日(土)、1月7日(日)、8日(祝)は、卒業論文提出直前のため特別開室します。

1月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

黒字は響流館の休館日。

黒は、9時開室 19時30分閉室

黒は、10時開室 17時30分閉室

茶は、9時開室 20時30分閉室

茶は、9時開室 18時閉室

1月、2月、3月の総合研究室の開室は以下のとおりです。後期試験、卒業式等により変則的な開室日もありますので、注意してください。

2月	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28			

※1 1月20日～21日センター入試

※2 2月3日～6日は一般入試(第1期)

※3 3月7日は一般入試(第2期)

※4 3月16日は卒業式のため、15時の閉室予定です。祝賀会等の時間により変更されることがあります。

※5 総合研究室図書整理日

●1月6・7・8日は、図書館も開館します。

なお、開室日や開室時間の変更は、学生向け情報提供システム、学内掲示板に掲載します。確認してください。

3月	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

仏教科研究室から

○3月中旬に『仏教研究紀要』第29号の発刊を予定しております。

ご希望の方は、仏教科研究室までご連絡ください。

幼児教育保育科研究室から

○「卒業研究発表会」を1月10日(水)16時10分～19時20分(第5・6時限)に開催します。授業の一環として行いますので、第1・第2学年とも必ず全員出席してください。会場は響流館3Fのメディアホールです。詳細については、追って2号館1階の幼児教育保育科専用掲示板でお知らせします。

○『大谷大学短期大学部幼児教育保育科研究紀要』第8号を2月下旬に発刊します。幼児教育保育科第2学年には卒業式当日に、第1学年には次年度のオリエンテーションのときに、お渡しします。

○3月中旬に、今年度の第2学年が提出した「卒業研究」の要旨集を『卒業研究第40号』として

発刊します。第2学年には卒業式当日に、第1学年には次年度のオリエンテーションのときにお渡しします。

○現在、幼児教育保育科研究室の図書を借りている方は、1月16日(火)までに必ず返却してください。

学会だより

『大谷学報』第86巻第2号、『大谷大学研究年報』第59集を3月中旬に刊行予定です。

仏教学会

卒業論文梗概発表会並びに
送別懇談会

詳細は、後日、掲示板等にてお知らせします。

荒牧典俊教授最終講義

開催日 2月23日(金) 13:00～
場 所 尋源講堂
詳細は、後日、掲示板にてお知らせします。

哲学会

冬季研究会

開催日 2月21日(水)
発表者 中本敬士
(修士課程第2学年)
古谷伸子
(博士後期課程第2学年)
神崎宣次 任期制助手
場 所 マルチメディア演習室
詳細は後日お知らせします。

中国文学会

若槻俊秀教授最終講義

開催日 3月10日(土)
場 所 尋源講堂
詳細は後日掲示にてお知らせします。



2007年度 自己推薦入試結果

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	仏教学科	10	27 (5)	26 (5)	20 (5)	1.3	95	65

[注1] () 内数字は女子内数。

[注2] 得点は100点満点。

2007年度 文学部第3学年社会人編入学試験結果

学科	コース	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
真宗学科	真宗学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
仏教学科	仏教学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
哲学科	西洋哲学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	倫理学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	宗教学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	教育学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
社会学科	現代社会学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	文化人類学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
史学科	国史学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	日本仏教史学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	東洋史学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	東洋仏教史学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
文学科	国文学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	中国文学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	英文学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	ドイツ文学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
国際文化学科	国際文化学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
		計	2 (1)	2 (1)	2 (1)	

[注] () 内数字は女子内数。

2007年度 大学院秋季試験(修士課程)結果

課程	専攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真宗学	定員(20)の50%程度	本学	18 (0)	18 (0)	9 (0)	1.8
			他大学	4 (0)	4 (0)	3 (0)	
	仏教学	定員(20)の50%程度	本学	6 (1)	6 (1)	3 (1)	2.0
			他大学	2 (0)	2 (0)	1 (0)	
	哲学	定員(10)の50%程度	本学	3 (1)	3 (1)	3 (1)	1.0
			他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	社会学	定員(10)の50%程度	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏教文化	定員(20)の50%程度	本学	3 (3)	3 (3)	2 (2)	1.5
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	国際文化	定員(10)の50%程度	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
合計	定員(90)の50%程度	本学	30 (5)	30 (5)	17 (4)	—	
		他大学	8 (2)	8 (2)	6 (2)		
		計	38 (7)	38 (7)	23 (6)		

[注] ()内数字は女子内数。

2007年度 大学院社会人入試(修士課程)結果

課程	専攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真宗学	若干名	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.5
			他大学	3 (0)	3 (0)	2 (0)	
	仏教学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	哲学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	社会学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏教文化		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	国際文化		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
		他大学	3 (0)	3 (0)	2 (0)		
		計	3 (0)	3 (0)	2 (0)		

[注] ()内数字は女子内数。

2007年度 公募制推薦入試結果

学部	方式	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
								最高点	最低点
文学部	A方式	真宗学科	10	39 (2)	38 (2)	29 (1)	1.3	120	79
		仏教学科	10	14 (1)	13 (1)	12 (1)	1.1	120	74
		哲学科	10	38 (11)	37 (11)	25 (7)	1.5	124	83
		社会学科	20	96 (45)	90 (43)	39 (23)	2.3	127	95
		史学科	10	53 (15)	51 (15)	16 (9)	3.2	117	104
		文学科	10	34 (10)	32 (10)	13 (7)	2.5	132	98
		国際文化学科	10	21 (13)	21 (13)	15 (11)	1.4	111	84
		人文情報学科	10	40 (15)	39 (15)	24 (10)	1.6	119	90
	合計	90	335 (112)	321 (110)	173 (69)	—	—	—	
	B方式	真宗学科	10	37 (4)	36 (4)	29 (3)	1.2	126	87
		仏教学科	10	22 (1)	21 (1)	18 (1)	1.2	126	77
		哲学科	10	76 (23)	76 (23)	51 (18)	1.5	128	101
		社会学科	20	227 (101)	224 (100)	75 (41)	3.0	126	105
		史学科	10	132 (38)	129 (37)	39 (16)	3.3	132	113
文学科		10	87 (47)	86 (47)	26 (19)	3.3	135	115	
国際文化学科		10	93 (59)	93 (59)	68 (43)	1.4	127	90	
人文情報学科		10	63 (26)	63 (26)	50 (25)	1.3	130	90	
合計	90	737 (299)	728 (297)	356 (166)	—	—	—		
文学部 合計			180	1,072 (411)	1,049 (407)	529 (235)	—	—	—
短期大学部	A方式	仏教科	13	17 (2)	17 (2)	16 (2)	1.1	106	57
		文化学科	15	14 (12)	14 (12)	12 (10)	1.2	115	74
		幼児教育保育科	15	86 (76)	80 (74)	24 (21)	3.3	126	102
		合計	43	117 (90)	111 (88)	52 (33)	—	—	—
	B方式	仏教科	10	11 (2)	10 (2)	9 (2)	1.1	119	98
		文化学科	15	43 (38)	42 (37)	42 (37)	1.0	123	73
		幼児教育保育科	15	144 (116)	136 (109)	26 (23)	5.2	129	116
合計	40	198 (156)	188 (148)	77 (62)	—	—	—		
短期大学部 合計			83	315 (246)	299 (236)	129 (95)	—	—	—
総計			263	1,387 (657)	1,348 (643)	658 (330)	—	—	—

[注] ()内数字は女子内数。

大谷中学・高等学校からのお知らせ

来年度の中学校・高等学校の入学試験が始まります。下記のとおり来年度の中学校・高等学校入試と、高等学校知進寮入試(男子のみ)について、お知らせします。

※大谷高等学校 知進寮入学試験について(男子寮)一既に実施済です。(関心のある方は、本校の渉外部までお尋ねください。075-541-1317)

※大谷中学校入学試験について(募集人員一男女あわせて105名)
出願期間一1月9日(火)~1月12日(金)、各日の午前9時より午後4時30分まで。ただし、A日程入試で不合格となった者で、B日程入試を希望する者は、1月23日(火)午前9時30分から午後4時30分まで窓口出願は可能。

受験料一A日程、B日程ともに20,000円(本校所定の用紙を使用し郵便局で払い込んでください。)

出願方法一郵送出願、本校窓口出願、いずれでもかまいません。
入学試験日その他

	試験日	試験科目	定員
A 1 日程	1月21日(日)	国語・算数・社会・理科	約60名
A 2 日程	1月21日(日)	国語・算数・作文	約20名
B 1 日程	1月24日(水)	国語・算数・社会・理科	約15名
B 2 日程	1月24日(水)	作文・面接・書類審査	約10名

※B 1 日程の社会・理科はどちらか点数の高い方を採用します。
合格発表一A日程は、1月23日(火)午前9時より本校掲示板にて発表。ホームページでも掲載します。
B日程は、1月26日(金)午前9時より本校掲示板にて発表。ホームページでも掲載します。

※大谷高等学校入学試験について(募集人員一男女あわせて280名)
従来との変更点

併願受験者は前期入試か後期入試のいずれかで受験してもらいます。(専願受験者は前期入試の受験が義務づけられています)
バタビア・コースが2種類に分かれてスタートします。
バタビア・コース
マスタークラス(国公立進学希望者クラス)
コアクラス(難関私学進学希望者クラス)

出願期間一1月23日(火)~1月26日(金)、各日午前9時より午後4時30分まで。

受験料一20,000円

出願方法一窓口出願の場合は、本校事務室に出願書類を提出してください。

郵送出願の場合は、本校宛に書留で出願し、受験票返送用封筒と返信用切手770円分を同封しておいてください。

合格発表一2月14日(水)、着予定で、受験生個人宛に郵送します。(本校ホームページでも公表します。ただし、14日(水)のみです)

入試日程と受験科目

	入試日	受験科目	受験者区分
前期入試	2月9日(金)	国語・社会・数学・理科・英語	推薦専願受験者、専願受験者、併願受験者
後期入試	2月11日(日)	国語・数学・英語	併願受験者

※ 推薦専願受験者とは、本校が各中学校に対して示している内申(5教科合計かつ9教科合計)の基準を満たしている生徒のことです。
専願受験者とは、本校が各中学校に対して示している内申の基準に到達していない生徒で、本校入学を熱望している生徒のことです。

入学手続きについて(140,000円)

入学手続料

推薦専願受験者と専願受験者の合格者は、2月19日(月)から2月23日(金)までに納入してください。(午前9時より午後4時まで)
併願受験者は、公立高等学校合格発表の翌日の午後4時まで納入してください。

入学者登校日一3月24日(土) 午前9時までに登校してください。

※今熊野セミナーについてのお知らせ

第5回今熊野セミナーが下記日程で行われます。興味・関心をお持ちの方は、どうぞお越しください。

日時一1月30日(火)、午後1時30分より開始

場所一本校第一会議室

講師一真城 義磨(本校 校長)

題目一『われひとともに、尊し』

九州大谷短期大学からのお知らせ

◆2007年度一般・社会人入試日程

	出願期間	試験日
一般入試A 社会人 長期履修 (第2次募集)	1月22日(月)) 1月31日(水)	2月3日(土)
一般入試B 社会人 長期履修 (第3次募集)	2月19日(月)) 2月28日(水)	3月5日(月)
一般入試C 社会人 長期履修 (第4次募集)	3月19日(月)) 3月27日(火)	3月28日(水)

※専攻科・福祉専攻入試もごさいます。
※長期履修学生制度については広報室までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ
九州大谷短期大学広報室 (TEL0942-53-9900)

◆「大谷派教師資格試験検定」準備学習会のご案内

大谷派教師資格試験検定受検のために
真宗の教えを基礎から系統的に学ぶために

- 1.会場/本学生涯学習センター
- 2.開設期間/2月13日(火)~2月22日(木)
※17日(土)・18日(日)は休講
- 3.講義科目/①真宗学 ②仏教学 ③教化学
④声明作法 ⑤法規
- 4.受講希望受付/1月19日(金)まで
- 5.受講手続期限/1月31日(水)まで
事前に申込み連絡をしていただいた上での願書提出・受講料納付の期限となっております。

お問い合わせ
九州大谷短期大学総務課 (TEL0942-53-9900)

2006年度後期生涯学習講座案内

大谷大学では様々な教養を身に付けたい方に、本学の知的資産をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、21世紀をいかに生きるのかをテーマとする最先端講座、京都の文化の奥深さを知る講座。切り口は多様ですが、そこには常にひとのこころが流れています。これからも大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。

開放セミナー

「青葉の笛 ―平家から浄瑠璃へ、敦盛の軌跡―」

「一の谷の戦敗れ 討たれし平家の公達哀れ 暁寒き須磨の嵐に 聞こえしはこれか 青葉の笛」と、唱歌に唄われた美少年敦盛の軌跡を、『平家物語』と時代浄瑠璃『一谷嫩軍記』でたどってみたいと思います。我等の先達は、我子と同じ年頃の少年を討った熊谷直実と、討たれた美少年敦盛を、どのように伝えようとしたのでしょうか。

—プログラム—

- ① 2月8日(木) 『平家物語』と「浄瑠璃節」
- ② 2月15日(木) 最盛期の浄瑠璃
- ③ 2月22日(木) 『平家物語』の敦盛
- ④ 3月1日(木) 『一谷嫩軍記』「熊谷陣屋」 義経と直実
- ⑤ 3月8日(木) 『一谷嫩軍記』「熊谷陣屋」 敦盛と小次郎
- ⑥ 3月15日(木) 『一谷嫩軍記』「熊谷陣屋」 直実出家

講師：沙加戸弘（大谷大学教授）

時間：17：50～19：20

定員：100名

会場：響流館メディアホール

受講料：6,000円（税込）

申込締切：2月1日(木) 当日消印有効



「仏教経典入門」

「仏教は難しい」「お経は何を言っているか、さっぱり分らん」それもそのはずです。漢文の経典は1500年以上も前に生まれたものですから。しかし漢文の経典と現代の日本語の間には深いつながりがあり、いくつかの基本を学ぶ事によって広大な仏教の世界に入っていくことができるのです。

そのための、一から始める漢文経典入門講座です。

—プログラム—

- ① 2月23日(金) 仏教経典に親しむ
- ② 3月2日(金) 仏教経典にふれる
- ③ 3月9日(金) 仏教経典を読む

講 師：織田顕祐（大谷大学助教授）

時 間：14：00～15：30

定 員：100名

会 場：響流館メディアホール

受 講 料：3,000円（税込）

申込締切：2月16日(金) 当日消印有効



前回の生涯学習講座の様子

アジアに行く④

「ブータンと幸福論 —宗教文化と儀礼—」

ブータンは、世界の屋根と言われるヒマラヤ山脈の東端に位置する小さな仏教王国である。この国では、現国王が「GNP（国民総生産）」ではなく、「GNH（国民総幸福）」を提唱し、心の安らぎは、物質的發展のために損なわれてはならないことを信念に、独自の国づくりを実践している。

ブータンの宗教文化と儀礼を中心に、ブータン人の生活様式を提示しつつ、「幸福のカタチ」を描いていきたい。

—プログラム—

- ① 2月17日(土) 日常の中の幸福 —GNH（国民総幸福）の視点から—
- ② 2月24日(土) 宗教世界観と祭礼 —円環する時間と空間—
- ③ 3月3日(土) 死をふくむ幸福 —日本人の死生観との比較から—

講 師：本林靖久（大谷大学非常勤講師）

時 間：14：00～15：30

定 員：100名

会 場：響流館メディアホール

受 講 料：3,000円（税込）

申込締切：2月9日(金) 当日消印有効

詳細なパンフレットをご希望の方は、下記までお問合せください。

また受講申し込みの際には、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかにて、①講座名

②氏名・フリガナ ③郵便番号・住所 ④電話番号を明記してください。

— 連 絡 先 —

教育研究支援課KO係

TEL: 075-411-8161 FAX: 075-411-8162 MAIL: opensemi@sec.otani.ac.jp

※講座名、日程、受講料など変更になる場合があります。その旨ご了承いただきますようお願いいたします。

2007年度学年暦

【前期】							【後期】																																																																					
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																																																															
4月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30							行事予定等 4月 1日(日) ◇学年始 ◇宗祖誕生日 2日(月) } ◇オリエンテーション(若葉祭を含む) 7日(土) 3日(火) ◇入学式 8日(日) ◇釈尊降誕日 9日(月) ◇前期授業開始 11日(水) ◇聴講登録票提出期間[~13日(金)] 20日(金) ◇前期学費納入最終日 24日(火) ◇宗祖御命日勤行・講話 26日(木) } ◇聴講登録確認表配付 27日(金) } ◇聴講登録確認期間 29日(日) ◇昭和の日 30日(月) ◇振替休日=授業実施							10月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							行事予定等 10月 1日(月) ◇後期学費納入最終日 8日(月) ◇体育の日=授業実施 8日(月) } ◇聴講登録確認表配付 10日(水) } ◇修正登録確認期間 13日(土) ◇開学記念日 20日(土) ◇補講日 26日(金) ◇宗祖御命日勤行・講話 31日(水) ◇「卒業研究」提出最終日 (仏教科・文化学科) 11月 3日(土) ◇文化の日 9日(金) } ◇学園祭期間(予定) 12日(月) 23日(金) ◇勤労感謝の日=授業実施 27日(火) ◇大学報恩講(午後授業実施) 28日(水) ◇宗祖御正忌 30日(金) ◇「卒業研究」提出最終日 (幼児教育保育科)																																																							
																												5月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							5月 3日(木) ◇憲法記念日 4日(金) ◇みどりの日 5日(土) ◇こどもの日 19日(土) ◇補講日 28日(月) ◇宗祖御命日勤行・講話 31日(木) ◇「研究計画書」提出最終日 (修士・博士後期課程第1学年)							11月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30							12月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																											
																																																								6月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30							6月 2日(土) ◇宗祖誕生会 16日(土) ◇補講日 27日(水) ◇宗祖御命日勤行・講話 29日(金) ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究」提出最終日(前期卒業・修了予定者) ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究題目届」提出最終日(明年3月卒業・修了予定者) 30日(土) ◇補講日							12月 1日(土) ◇補講日 10日(月) ◇「修士論文」提出最終日 15日(土) ◇補講日 23日(日) ◇天皇誕生日 24日(月) ◇振替休日 25日(火) } ◇冬期休暇						
8月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							8月 1日(水) 7月 27日(金) ◇宗祖御命日勤行 8月 2日(木) } ◇夏期休暇							2月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29							2月 11日(月) ◇建国記念の日 28日(木) ◇宗祖御命日勤行 29日(金) ◇「研究成果報告書」提出最終日 (博士後期課程)																																																							
																												9月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30							9月 3日(月) } ◇集中講義期間 14日(金) 17日(月) ◇敬老の日 21日(金) ◇後期授業開始 ◇前期履修単位通知書配付 23日(日) ◇秋分の日 24日(月) ◇振替休日=授業実施 26日(水) } ◇登録修正期間 28日(金) 27日(木) ◇宗祖御命日勤行・講話 28日(金) ◇前期卒業証書・学位記授与式 30日(日) ◇前期終了							3月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							3月 18日(火) ◇卒業証書・学位記授与式 20日(木) ◇春分の日 28日(金) ◇宗祖御命日勤行 31日(月) ◇学年終																											

朝鮮半島経由で中国文化が日本に伝えられて以来、中国と日本との付き合いの歴史は、長い年月をもって。そして中国よりもたらされた文化は、あらゆる分野に及んでいることはご存知の通りである。

中国文化の中心に「漢字」があるが、その文字によって記される文章を通して、沢山の知恵を学び続けてきた我が国は、それによって今日に至るまで日本という国のかたちを形成してきたのである。漢字を表現手段として用いてきた中国・朝鮮・越南(ベトナム)・日本を、中国を中心とするひとまとまりのゾーンと考え、近年では「漢字文化圏」とか、

あるいは漢字文化の中心にある中国正統思想としての儒教的精神に着目して「儒教文化圏」ととらえることが多い。

しかし、この「漢字・儒教」文化圏とするとならえ方からは、中国が主であり、本家であり、その流れを受けた周辺国は、従であり、本家に対する分家の如きものとする位置づけにされることとなるのは必然であろう。

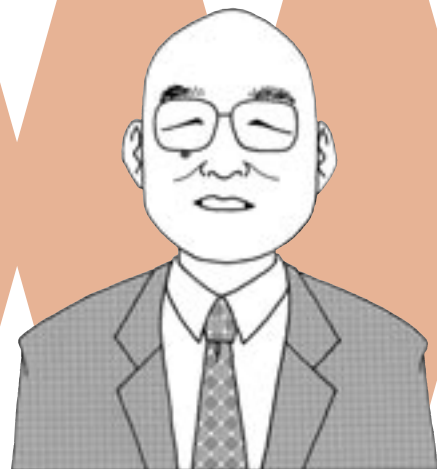
日本と中国との国交は、古く後漢時代の初期に遡る。その後、三国時代には、邪馬台国の女王卑弥呼の遣使が史書に記されている。なかでも注目すべき記事として、『隋書』に

日本からの遣隋使小野妹子と煬帝とのやりとりがある。時に小野妹子は推古天皇の国書を携えていったのであるが、その文面は、中国の天子から見た時、まことに無礼なるものであった。「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙なきや」というのがそれである。この書を読んだ天子は悦ばず、蛮夷の書に無礼なる者あらば「復た以聞せしめる勿れ」としたという。この時の日本側の身の程知らずの無礼な態度は、帝の不興をかったが、物知らずの夜郎自大として捨て置かれたようである。この時の中国の日本に対する対応には、中国の伝統である中華こそ天下

話題の広場 SQUARE

儒教文化圏における国交を考える

若槻 俊秀



絵 内山智廣

の中心であり、天下の主宰者である天子の君臨する地域だとする思想が明確に示されている。

《天に二日(二つの太陽)無き如く、天下に王(天子)は二人無し》、とするとところへ、《日出ずる処の天子(日本)、日没する処の天子(中国)に国書を呈する》などと、まことによくも言ったものだと感心すると同時に、身の程知らずで呆れもする。尤も現今のわが国には、これくらいの大言をたたくほどの覇気があって欲しいものではあるが・・・。

ところで、『隋書』における日本は、天下の中心地である王朝の位置するところを中華、その四囲を文明未開の蛮夷の地と考える中華思想に立脚して、倭国(日本)を東方の夷狄として位置づけ「東夷伝」中に収録

されている。しかし「世界の都、長安」ともいわれ、自らを絶対的存在とし、他の諸民族とともにあるとする思考の薄かった中国は、やがて強力な北狄の遼・金に不断の圧迫を受け、中華危うしとの危機感から自らの立脚点をあらためて点検し、「中華かくあるべし」との国の「かたち」を見定めることになる。国の大本とは、道の伝統とはいかなるものかと必死な思いで探し出し、それはやがて、漢から唐までの大らかな儒教に明確な筋道、体系を構築し、新儒教としての宋学(朱子学)が確立することになったのである。

しかし、この意識の強い新儒教は、中国で徹底するには至らなかった。それに比して、国教化させた李氏朝鮮や、江戸時代、なかでも寛政異学

禁令を定め、朱子学に統制した老中松平定信の政策等に導かれ、尊皇攘夷の論が激しくなった幕末期には、中国を大中華とすれば、朝鮮も日本も小中華であると、それぞれの「中華思想」を展開することとなった。その影響は、その後、今日に至るまで底流として残存し、中国・朝鮮・日本を廻る外交関係に様々な形で、時には支障となって出現していることである。近頃誼しい「歴史に学ぶ」を思う時、以上の過去の歴史的経緯を一度しっかりと顧み、そこからの新たな一歩を進めることが必要とされているのではないかと考えるのである。

(わかつき としひで)
教授 中国哲学史